

市町村名		八重瀬町					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	八重瀬町外国語指導強化事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(3)-ア	
担当部署名	教育委員会 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24~令和13年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際感覚を身に付ける教育の推進 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	児童生徒の英語学習意欲や英語学力の向上を図り、国際社会に柔軟に対応できる人材を育成するため、町内小中学校に英語指導助手を配置する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		(a)当初予算額	16,404	16,404	20,582	21,963	21,963
	(b)予算現額	16,404	16,404	21,060	21,963	21,687	
	(c)増減額(b-a)	0	0	478	0	▲276	
	(d)繰越額	—	—	—	—	—	
	A.計(b+d)	16,404	16,404	21,060	21,963	21,687	
	B.執行済額	15,956	16,173	20,853	21,963	21,600	
	うち交付金充当額	12,765	12,938	16,682	27,570	17,280	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	97.3%	98.6%	99.0%	100.0%	99.6%	
予算の状況の説明	当初の計画通りの人員を配置することができたが、欠勤等により減額した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)	達成状況					
		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	《英語指導助手:5人配置》	目標	(2人)	(3人)	(3人)	(3人)	
	小学校4校:3人配置し分担	実績	2人	3人	3人	3人	
	中学校2校:2人配置	目標	(2人)	(2人)	(2人)	(2人)	
	実績	2人	2人	2人	2人		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・英語指導助手を5人(小学校3人配置し分担・中学校2人配置)配置した。 ・小学校では英語への興味・関心を高めるため「楽しい英語」を意識した授業に取り組んだ。 ・中学校では英語指導助手のネイティブな英語に触れ、英語力向上に繋がる授業に取り組んだ。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)	基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)	
		①小学校 英語に対する興味・関心が高まった(80%以上)を含め、対象児童へのアンケート調査により当該事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)
		実績		84.8%	77.8%	79.3%	
	②中学校 沖縄県学力到達度調査(英語)における、県と本町との平均正答率の差平均以上	目標	()	(±0ポイント以上)	(+1ポイント以上)	(平均以上)	()
		実績		+1.4	+0.85	+0.2	
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の英語に対する興味・関心度については、79.3%と目標を達成出来なかったが、前年度より高まった。今後も英語指導助手を配置したことによる「楽しい英語」の取り組みが学習意欲の向上に繋がるよう更なる工夫が必要である。 ・中学校の沖縄県学力到達度調査(英語)における県と本町の平均正答率の差は、+0.2ポイントとなり、成果目標である平均以上を上回った。 						

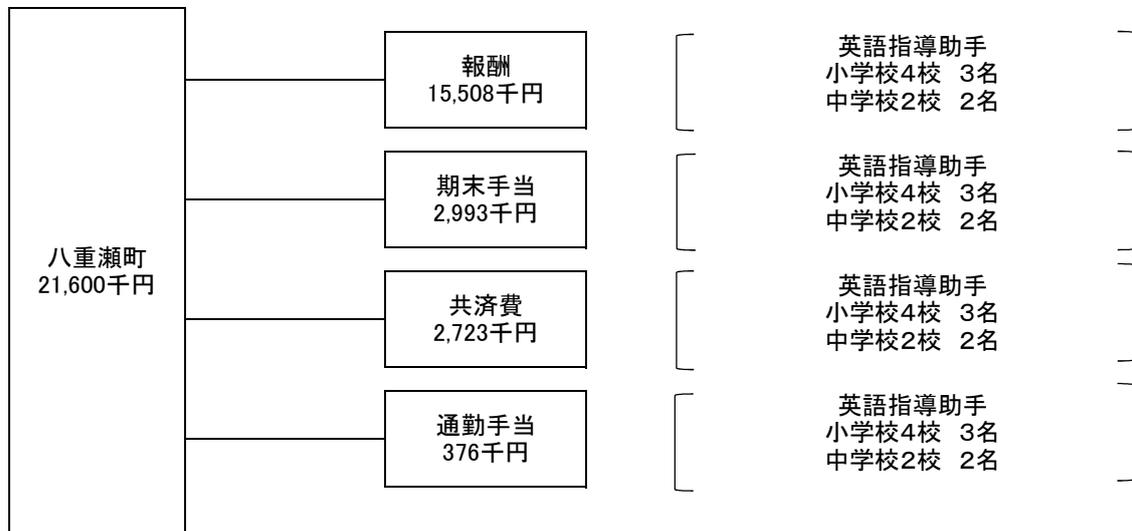
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校における英語に対する興味・関心度に関するアンケートによる検証結果は、79.3%となり、目標未達成となった。 ・中学校における目標値である沖縄県達成度調査による平均正答率との差が+0.2ポイントとなり、目標を達成した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校では、英語に対する興味・関心が高まるよう「楽しい英語」への取組に向けた工夫が必要である。 ・中学校では、目標を達成することができたが、前年度の結果を下回っており、英語力向上へ繋がるよう、英語指導助手の更なるスキルアップが必要である。

今後の取り組み方針

・小学生の英語への興味・関心を高め、また中学生の英語力向上に繋がるよう、英語指導助手の更なるスキルアップが必要であるため、研修会や意見交換会を開催する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
21,600	21,600	17,280	4,320	0



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・支出先は町規定に基づき雇用契約を結んでおり妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・配置予定人数分を町規模等に基づき計上した。不用額も発生しておらず、予算規模は概ね適正であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	・費用・用途については、外国語指導助手に対する報酬・期末手当・共済費・通勤手当であり、必要なものに限定されていた。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町							
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-②	八重瀬町ICT支援員配置事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(3)-イ			
担当部署名	教育委員会 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24~令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Society5.0に対応する教育の推進 Ⅲ-3-(1)			
事業内容	ICT環境を効果的に活用した分かりやすい授業を展開するため、小中学校にICT支援員を配置し、児童生徒の情報機器操作能力や情報活用能力の向上を図る。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		8,255	8,255	11,368	11,368	12,505	
			6,906	8,255	9,020	11,110	12,375	
			▲ 1,349	0	▲ 2,348	▲ 258	▲ 130	
			—	—	—	—	—	
		B. 執行済額	6,090	4,039	9,020	11,110	12,375	
		うち交付金充当額	4,872	3,231	7,216	8,888	9,900	
		次年度繰越額	0	0	0	0	0	
		執行率(%) (B/A)	88.2%	48.9%	100.0%	100.0%	100.0%	
		予算の状況の説明	予算減額については、委託業務契約実績に伴う減額である。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況					
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	ICT支援員:2人配置 小学校4校・中学校2校:2人配置(分担)		目標 (パソコン指導員配置 小学校2人 中学校2人)	(ICT支援員配置 2人)	(ICT支援員配置 2人)	(ICT支援員配置 2人)		
達成状況説明		当初の計画通りICT支援員を2人確保し、小学校4校・中学校2校を巡回で配置した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)	
	ICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたか(80%以上)を含め、児童生徒に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。		目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
			実績	93.4%	96.5%	95.0%		
進捗状況説明		・児童生徒に対するアンケート検証の結果「ICT支援員(パソコンの先生)がいると、授業は分かりやすいですか?」の質問に対し、「とてもわかりやすい」「わかりやすい」と回答した児童生徒の割合が95.0%で目標を上回った。						

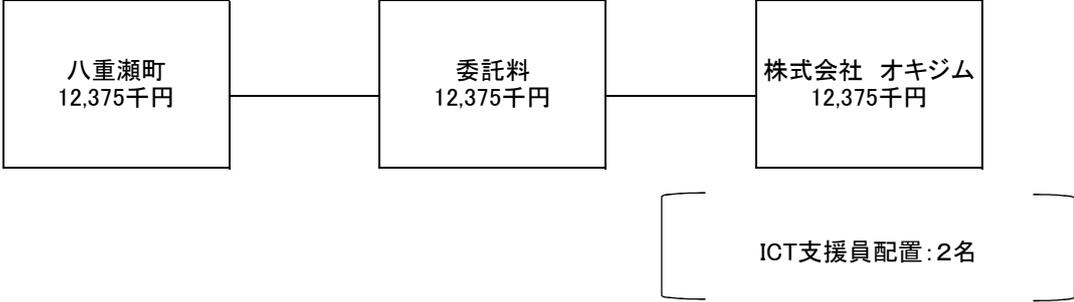
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ICT支援員を配置したことで、専門的な支援体制が図られ児童生徒や教員のICT機器の活用能力が向上したと考える。 児童生徒へのアンケート結果が95.0%だったことから、成果目標であるICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたと考える。 ICT支援員を配置し、教員に対してICT機器の操作方法を支援することにより、積極的にICT機器を活用することができ、研修を通して教員のスキルアップへと繋がった。また、コロナウイルスの影響により児童生徒のICT機器を活用する機会も増え、そこにスキルアップした教員及びICT支援員が児童生徒を支援することで、児童生徒の満足度に繋がったと考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 新たな機器の導入やプログラミング授業の導入など、急速に発展する情報社会に児童生徒や教員が取り残されることがないようにサポートする必要がある。 アンケートによる検証を行いながら児童生徒の学習ニーズを把握していく必要がある。

今後の取り組み方針

- 急速に発展する情報化社会に対応できるよう、支援の内容やサポート体制を検討する。
- ICT支援員の配置を継続する事で、児童生徒や教職員のICTに対する理解度を高めていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
12,375	12,375	9,900	2,475	0



資金の用途の点検・費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> 委託業者は指名競争入札の業者選定をしており、妥当であったと考える。 不用額を出すことなく事業執行できたため適正であったと考える 費目、用途については毎月検査を行い、目的に即し必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	八重瀬町学力向上支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-ア		
担当部署名	教育委員会 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成25~令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身に付ける学校教育の充実 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	町内小中学校に学習支援員を配置し、児童生徒の学力に応じた個々の学習指導で、学力の向上を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
		(a) 当初予算額	33,022	33,022	34,602	15,942	15,944
		(b) 予算現額	25,594	33,022	21,060	14,258	12,414
		(c) 増減額(b-a)	▲7,428	0	▲13,542	▲1,684	▲3,530
		(d) 繰越額	—	—	—	—	—
		A. 計(b+d)	25,594	33,022	21,060	14,258	12,414
		B. 執行済額	22,255	23,538	24,657	13,508	12,790
		うち交付金充当額	17,804	18,830	19,726	10,806	10,232
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	87.0%	71.3%	117.1%	94.7%	103.0%
予算の状況の説明	当初から計画通りの人員を配置することができず、年度途中で配置したことにより欠員期間の分を減額した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	学習支援員:6人配置		目標 (小学校10人 中学校6人)	(小学校10人 中学校4人)	(小学校4人 中学校2人)	(小学校4人 中学校2人)	
	小学校4校:4人配置 中学校2校:2人配置		実績 小学校8人 中学校3人	小学校8人 中学校2人	小学校4人 中学校2人	小学校4人 中学校2人	
達成状況説明	・小学校4人・中学校2人の計6人の配置計画に対して、年度途中まで1名配置出来なかったが、1月から計画通りの配置ができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図る。沖縄県学力学力到達度調査における、県と本町との平均正答率の差		目標 ()	(±0P以上)	(-0.1ポイント)	(平均以上)	()
	・小学校(国語・算数) 平均以上		実績	+0.13	-1.45	-1.7	
	児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図る。沖縄県学力到達度調査における、県と本町との平均正答率の差		目標 ()	(-1.6P以上)	(平均以上)	(平均以上)	()
	・中学校(国語・数学) 平均以上		実績	+1.13	+8.75	+7.5	
進捗状況説明	・小学校の沖縄県学力到達度調査(国語・算数)における県と本町の平均正答率の差は、-1.7ポイントで成果目標である平均以上を下回っており、目標未達成となった。 ・中学校の沖縄県学力到達度調査(国語・数学)における県と本町の平均正答率の差は、+7.5ポイントで成果目標である平均以上を上回っており、目標を達成することができた。						

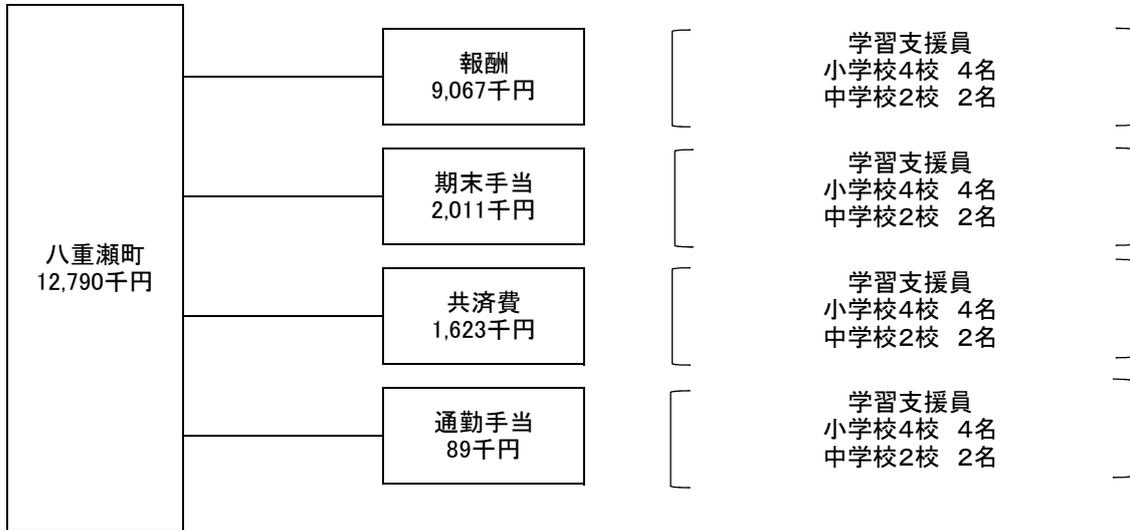
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校においては、国語は平均以上だが、算数が平均を下回る結果となった。 ・中学校では国語・数学ともに平均以上となっており、目標を達成することができた。 ・当初から計画通りの人員を配置することができず、学習支援員の継続確保が課題である。 ・コロナウイルスの影響により、学習支援員を集めて意見交換会や研修をすることができなかったことで、小学校は目標達成できず、中学校においても目標を達成できなかったが前年度を下回る結果となった。また、町ホームページ等で学習支援員の募集を行ったが、申込が無く計画通りの配置をすることができなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習支援員を対象とした研修会や意見交換会を開催し、学習支援の方法や好事例を共有することで、学習支援員のスキルアップに繋げる。 ・町ホームページ等での募集と併せ、学校側にも知人をあたってみる等、計画通りの配置に向けて積極的に努める

今後の取り組み方針

- ・学習支援員のスキルアップに繋がる取組について検討を行う。
- ・各小中学校の現状を把握し、現場に適した人員配置を行うため、町ホームページやSNSを活用し、募集案内の拡散に努める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
12,790	12,790	10,232	2,558	0



資金の用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・支出先は町規定に基づき雇用契約を結んでおり妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・予算規模については、予定人数の確保が概ね計画通りであったが、途中まで1名の配置が出来なかった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	・費用・用途については、支援員に対する報酬・期末手当・共済費・交通手当であり、必要なものに限定されている。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町							
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-④	八重瀬町特別支援員配置事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-ウ			
担当部署名	教育委員会 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成27～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	個性を伸ばし、自立に向けた資質・能力を伸ばす教育の推進 Ⅲ-3-(1)			
事業内容	特別な支援を要する幼児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、町内幼小中学校に特別支援員を配置する。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額	A. 計(b+d)	62,605	62,605	60,731	34,792	43,225	
		B. 執行済額	49,504	62,605	49,079	37,359	42,987	
		うち交付金充当額	▲ 13,101	0	▲ 11,652	2,567	▲ 238	
		次年度繰越額	—	—	—	—	—	
			49,504	62,605	49,079	37,359	42,987	
			42,474	39,108	47,166	36,539	38,999	
			33,979	31,286	37,733	29,231	31,199	
			0	0	0	0	0	
			85.8%	62.5%	96.1%	97.8%	90.7%	
	予算の状況の説明	当初から計画通りの人員を配置することができず、年度途中で配置したことにより欠員期間の分を減額した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況					
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	特別支援員:21人配置 幼稚園3園:7人配置 小学校4校:13人配置 中学校1校:1人配置		目標 (幼稚園16人 小学校14人 中学校6人)	(幼稚園14人 小学校12人 中学校4人)	(幼稚園9人 小学校8人 中学校2人)	(幼稚園8人 小学校11人 中学校1人)		
達成状況説明	・幼稚園7人、小学校13人、中学校1人の計21人の配置計画に対して、年度途中まで2名配置出来なかったが、学校の支援状況に合わせて支援員を増やした。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)	
	対象となる幼児児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応に満足したか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。		目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
			実績		82.8%	83.3%	81.7%	
進捗状況説明	保護者に対するアンケート検証において「特別支援員さんの対応に満足していますか?」の質問に対し、「とても満足している」「満足している」と回答した保護者の割合が81.7%で目標を上回った。							

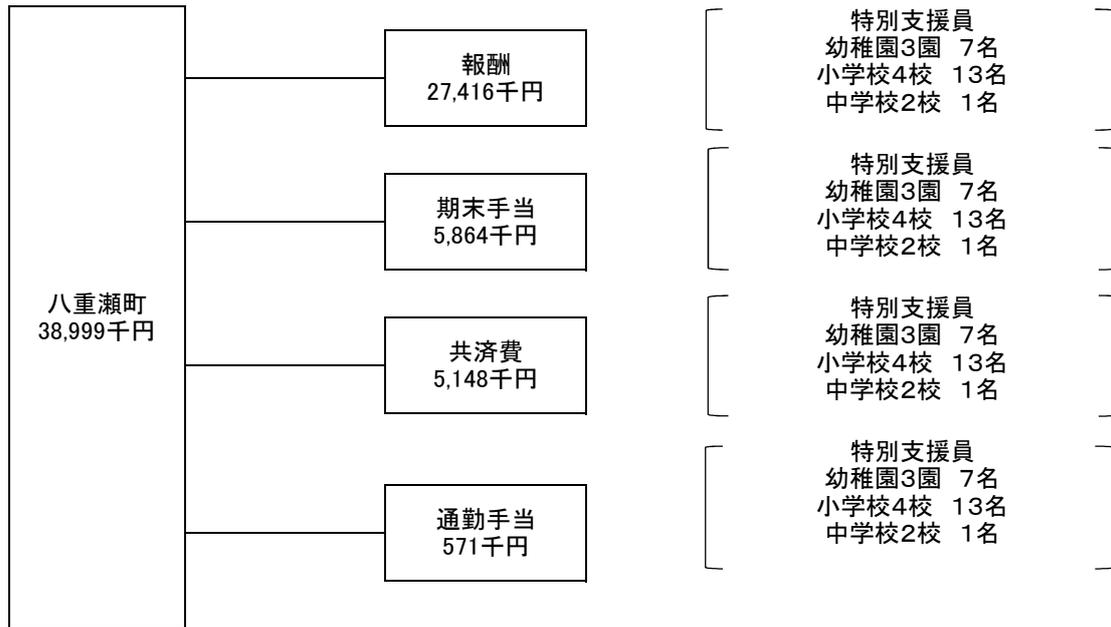
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・多様化する教育的支援のニーズに対して適切な支援を行えるよう、特別支援員としてのスキルがより求められるようになってきている。 ・配置計画に対し、年度途中からの支援員配置や退職等による人員確保が課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援の必要な児童生徒への適切な支援を行えるよう、研修会等を通して特別支援員の更なるスキルアップを図る必要がある。 ・配置計画通りの人員を確保するため募集方法等の検討が必要である。

今後の取り組み方針

- ・各小中学校の現状を把握し、現場に適した人員配置を行うため、町ホームページやSNSを活用し、募集案内の拡散に努める。
- ・特別支援員のスキルアップに繋がる取組について検討を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
38,999	38,999	31,199	7,800	0



資金の流 れの点 検・費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ・支出先は町規定に基づき雇用契約を結んでおり妥当である。 ・予算規模については、年度途中の配置や退職により減額した。 ・費用・使途については、支援員に対する報酬・期末手当・共済費・交通手当であり、必要なものに限定されている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑤ 八重瀬町ICT教育強化事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	4-5-(3)-イ		
担当部署名	教育委員会 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成26～令和6年度	沖縄振興基本方針該当箇所	多様な能力を育て、力強く未来を拓く人づくり Ⅲ-3-(1)		
事業内容	GIGAスクール構想の実現に向けて、校内ネットワークへの接続や学習用端末と連携が可能な電子黒板を導入し、主体的な学びの意欲向上及び更なる学力向上を目指す。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		2,904	6,044	63,037	93,001	31,030
			2,904	5,811	56,601	48,950	29,568
			0	▲ 233	▲ 6,436	▲ 44,051	▲ 1,462
			0	0	0	0	0
		B. 執行済額	2,789	5,810	56,601	48,950	29,568
		うち交付金充当額	2,231	448	45,280	39,160	23,654
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	96.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
		予算の状況の説明	予算については、適宜計画の変更を行い執行率100%となった。				
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	ICT機器の整備	目標	(3台)	(6台)	(60台)	(33台)	
	電子黒板等(33台) 電子黒板用パソコン(33台)	実績	3台	6台	60台	33台	
	学習用端末	目標	()	(1,064台)	()	()	
	実績		1,064台				
	達成状況説明	・当初計画通り、小学校4校に対し電子黒板及び電子黒板用PCを30台、1中学校に対し3台を設置することができた。 (東風平小学校12台・白川小学校7台・具志頭小学校6台・新城小学校5台・具志頭中学校3台)					
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	児童生徒へのアンケートにより、ICT機器を活用した授業が分かりやすかった(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績		91%	92%	93%	
	進捗状況説明	・電子黒板未整備の中学校への電子黒板の整備を行うことができた。 ・校内ネットワークとの接続が可能な電子黒板を小学校5～6年の教室へ整備する事ができた。(100%) ・児童生徒に対するアンケート検証を実施したところ、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合は93%となり、目標を達成した。					

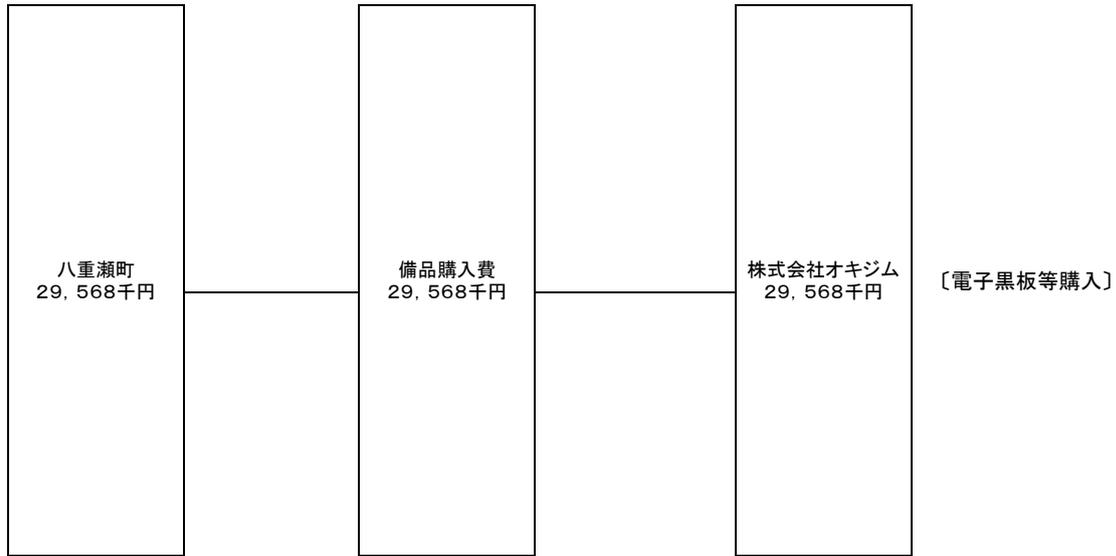
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の増加に伴い、学級が増加している学校があるため、引続き電子黒板の整備が必要となっている。 小学校に設置している電子黒板について、一部の機器は校内ネットワークとの接続に対応していないため、校内ネットワークと接続可能な電子黒板の整備を進める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 電子黒板の整備に向けて、学級の増設状況を把握し、機器の導入見込数を適宜把握する必要がある。 引き続き児童生徒へアンケートを行い、ICT機器を活用した分かりやすい授業を継続する必要がある。

今後の取り組み方針

・町内小中学校のICT機器設置状況や児童生徒数に応じた導入を計画し、主体的な学びの意欲向上、学力向上を支援していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
29,568	29,568	23,654	5,914	0



資金の用途の点検・費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・事業者は指名競争入札で選定しており、妥当と考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・予算規模について、事前見積、過去の購入実績等を参考に積算しており、購入台数も含めて適切な規模と考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	-
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・費目・用途について、電子黒板の導入にあたり、必要なものに限定されている。

市町村名		八重瀬町					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑦ 「夢・未来」スポーツレベルアップ事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(9)-ア		
担当部署名	教育委員会 スポーツ振興課	事業実施(予定)年度	平成27~令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化		
事業内容	トップアスリートによるスポーツ教室を開催し、八重瀬町の児童生徒のスポーツレベルを高める。全国のチームや県外選手と交流、試合(派遣助成)をすることで児童生徒のスポーツの対する意識を高める。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		(a) 当初予算額	4,878	4,879	4,879	1,875	2,980
	(b) 予算現額	5,150	4,879	1,279	1,875	3,892	
	(c) 増減額(b-a)	272	0	▲ 3,600	0	912	
	(d) 繰越額						
	A. 計(b+d)	5,150	4,879	1,279	1,875	3,892	
	B. 執行済額	4,950	3,199	957	2,464	3,721	
	うち交付金充当額	3,492	2,559	765	1,971	2,977	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	96.1%	65.6%	74.8%	131.4%	95.6%	
予算の状況の説明		新型コロナウイルス感染症による影響を受けた前年度より児童生徒県外派遣の申請数が増加したことから、派遣費が増額となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	テニス・陸上クリニックの開催	目標	(開催)	(開催)	(開催)	(開催)	
		実績	開催	開催	開催	開催	
	児童生徒の県外派遣費の助成	目標	(助成実施)	(助成実施)	(助成実施)	(助成実施)	
実績		助成実施	助成実施	助成実施	助成実施		
達成状況説明		①スポーツクリニック ・陸上クリニックは小学生を対象に8月に開催した。 ・テニスクリニックは小中学生を対象に11月に開催した。 ②児童生徒の県外派遣費の助成 ・派遣費の助成は前年度42件を上回る80件を実施した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	スポーツ教室へ参加した児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒のスポーツへの意識が更に高まったか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について、アンケートにより検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績		97%	89%	93%	
	派遣された児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績		84%	97%	100%	
進捗状況説明		①スポーツクリニックの開催 ・スポーツ教室へ参加した児童生徒の保護者へのアンケート検証の結果を児童生徒のスポーツへの意識が高まったとの回答が陸上が91%(21名/23名) テニスが95%(20名/21名) 合計 ※平均値(91%+95%)/2= 93% となり、目標を達成した。 ②児童生徒の県外派遣費の助成 ・派遣された児童生徒の保護者へのアンケートによる検証を実施した結果、県外大会に派遣されることにより広い視野を持つことが出来たとの回答が100%(71名/71名)となり、目標を達成した。					

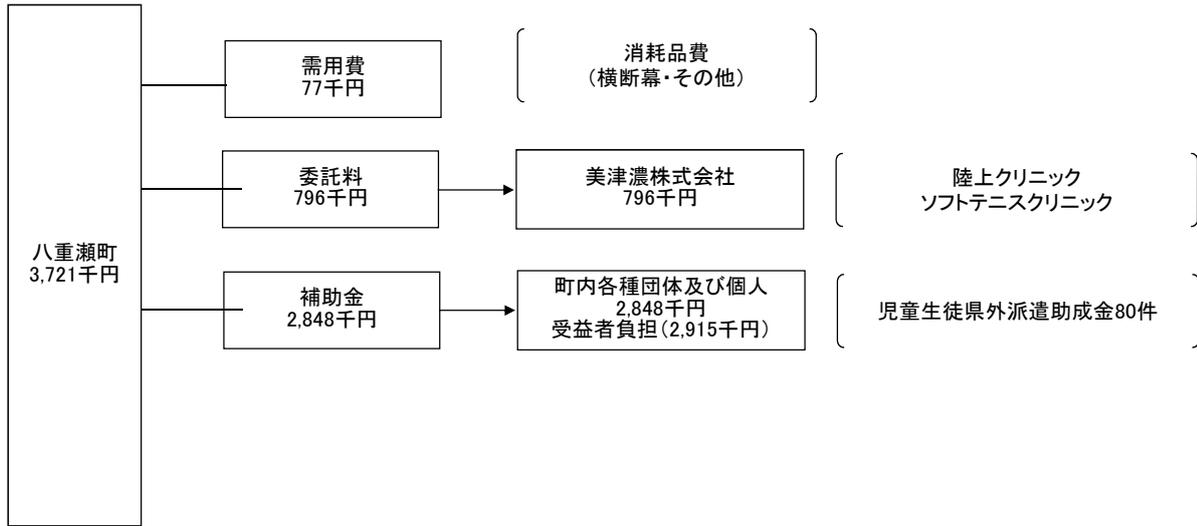
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	①スポーツクリニックの開催 ・トップアスリート(元オリンピック選手)による指導は機会がなく、貴重であることから開催時期の検討や、開催時間を短くして複数回開催してほしいと要望があった。 ②児童生徒の県外派遣費の助成 ・新型コロナウイルス感染症により影響を受けた前年度よりも申請件数が増加した。 ・前年度になかった新規種目(空手・クレー射撃等)の派遣等ができてきている。	①スポーツクリニックの開催 ・開催時期や、開催時間は子供たちの大会が重ならないように配慮することはできるが、開催時間については低学年も参加することや、夏に開催するのであれば開催時間の短縮を検討する必要がある。 ②児童生徒の県外派遣費の助成 ・予算執行状況の把握に努め、計画的な予算流用及び変更申請を行うことが必要である。

今後の取り組み方針

・スポーツクリニックを開催する時期を対象学生の大会等避け、夏休み等で開催し多くの方がスポーツ教室に参加できるように開催する。
 ・派遣費助成については、予算執行状況の把握に努め、変更申請及び経費の変更の検討する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
3,721	3,721	2,977	744	



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は地方自治法施行令167条の2第1項第2号に基づき随意契約を行っており妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算額については、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた前年度よりも県外派遣の申請数が増加した為、変更申請及び経費変更の手続きが生じた。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○補助金については受益者である町内各種団体及び個人について航空費の5割を負担しており妥当と考える。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・用途は委託料及び事業執行の為に消耗品費であり、必要経費と考える。

市町村名	八重瀬町						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	八重瀬町イベント事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ	
担当部署名	総務部 企画財政課	事業実施(予定)年度	平成24~令和4年度	沖縄振興基本方針該当箇所	多彩かつ質の高い観光の推進		
事業内容	町の観光資源である桜を活用して観光客の誘客を図るため、桜まつりの開催支援を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		6,683	4,071	0	3,500	4,500
			4,683	4,071	0	3,500	8,000
			▲2,000	0	0	0	3,500
			0	0	0	0	0
		B. 執行済額	4,592	3,808	0	3,500	7,195
		うち交付金充当額	3,673	3,046	0	2,800	5,756
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	98.1%	93.5%	#DIV/0!	100.0%	89.9%
		予算の状況の説明	イルミネーションの更新・臨時駐車場の設置が必要となり、予算を3,500千円増額した。不用額の805千円については、臨時駐車場の設置費用が当初見込みより減したためである。				
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	やえせ桜まつりの開催支援 来場者7,400人		目標 (6,400人)	(-)	(7,400人)	(7,400人)	
		実績	6,300人	-	12,376人	25,400人	
	達成状況説明	【やえせ桜まつり】八重瀬公園の桜を沖縄南部桜の名所として広くPRし地域活性化に寄与した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値 (R3年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (年度)
			目標 (7,400)	(-)	(7,400)	(7,400)	()
	やえせ桜まつり来場者数 7,400人以上		実績	-	12,300	25,400	
	進捗状況説明	令和3年度より見どころを桜だけでなく、花の植栽、フォトスポットの設置、イルミネーション・ライトアップの強化、足湯の設置を行い、昼・夜のどちらでも楽しめるよう工夫したことに加え、臨時駐車場を拡大したことにより、来場者数の増加につながった。					

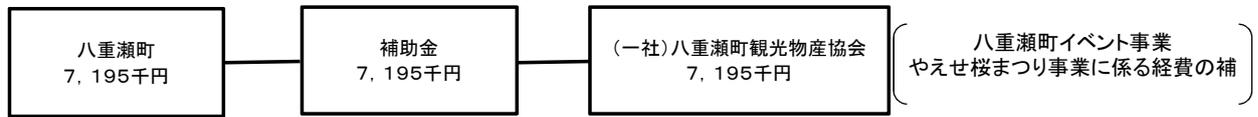
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場不足、交通渋滞が発生している。 ・会場までの交通手段や場所の周知、案内の多言語化(英語・中国語)が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時駐車場の拡大、警備員の増員により交通渋滞の緩和 ・ホームページだけでなく、各SNSを活用した情報発信と英語・中国語での標記

今後の取り組み方針

- イベントの来場者の町内の滞在時間・消費額の増加を図る。
- 情報発信・プロモーションをより早期から実施する。
 - ・観光客が立ち寄るスポット(宿泊施設・レンタカー営業所・町内外観光施設等)におけるPR、県内旅行代理店に対するツアールート組み込みの働きかけ。
- 海外からの観光客を誘致するため、多言語の情報発信の強化。
- 十分な自主財源を確保し、継続可能な体制の構築。
- 「八重瀬町観光拠点施設」と連動し、積極的に活用する取組の実施。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
7,195	7,195	5,756	1,439	

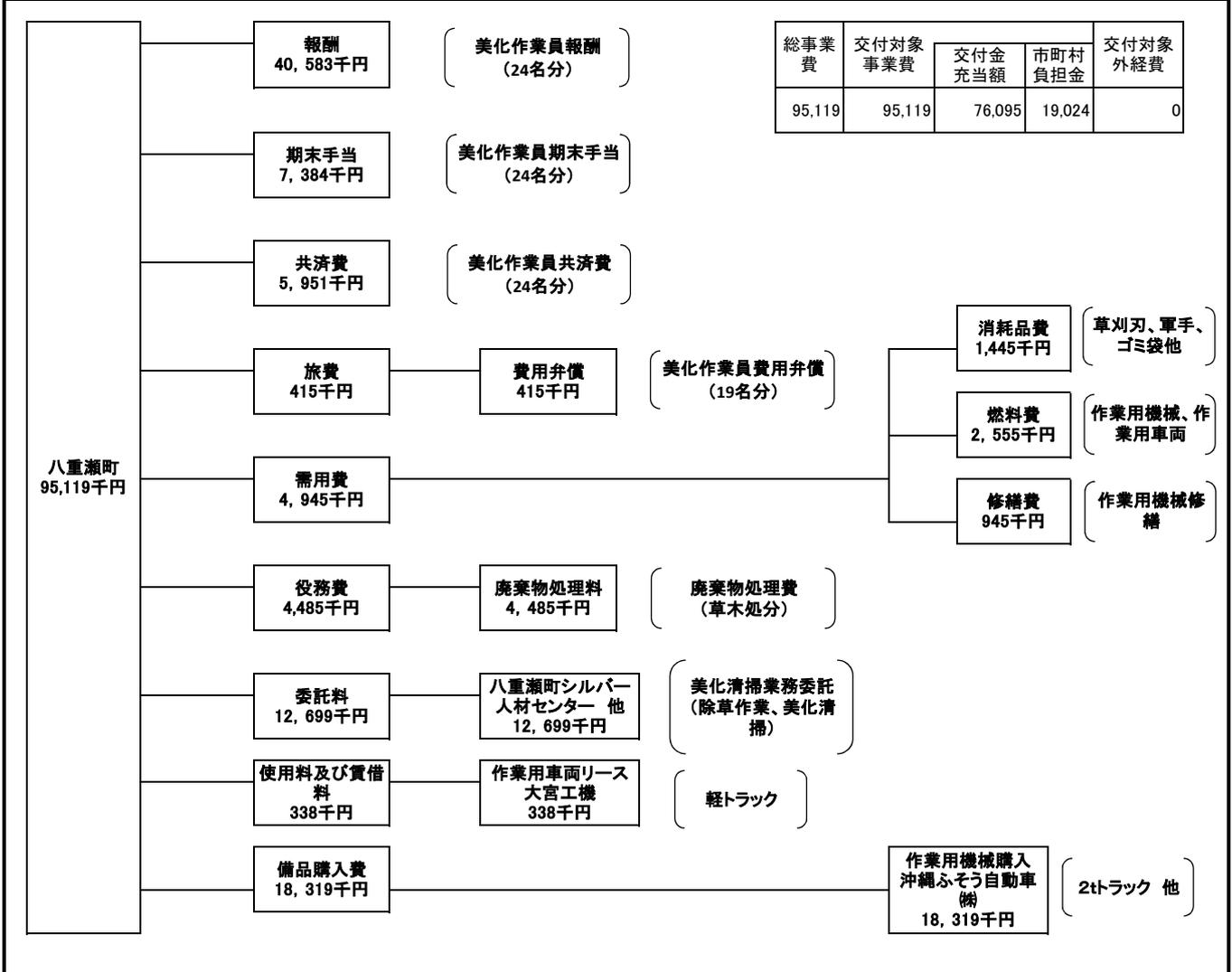


資金の 使途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○八重瀬町イベント事業補助金交付規則を根拠に本町と連携して観光振興を図っている団体であり、選定は妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○八重瀬町財務規則に基づき予算執行しているため妥当である。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については実績報告で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	八重瀬町観光地美化作業事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-1-(1)-ウ	
担当部署名	経済建設部 都市整備課・土木建設課 教育委員会 スポーツ振興課・生涯学習文化課	事業実施(予定)年度	平成24～令和13年	沖縄振興基本方針該当箇所	人と環境に優しいまちづくりの推進 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、町内の観光客が訪れる観光地や施設、観光地アクセス道路等の美化清掃を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額	A. 計(b+d)	53,808	48,057	48,338	52,407	102,201
		B. 執行済額	48,087	46,178	47,991	48,940	95,119
		うち交付金充当額	38,469	36,942	38,392	39,152	76,095
		次年度繰越額					
	執行率(%) (B/A)		89.4%	96.1%	99.3%	93.4%	93.1%
	予算の状況の説明 予算については会計年度任用職員の勤務実績などによる報酬の残額を含め、備品購入費などを合わせて1,039千円の不用額が生じた。						
	活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況			
				R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
		観光地や施設及びアクセス道路の美化作業 観光地 :13箇所 アクセス道路 :45路線		目標 (美化作業の実施) 実績 美化作業の実施	(13箇所 45路線) 13箇所 45路線	(13箇所 45路線) 13箇所 45路線	(13箇所 45路線) 13箇所 45路線
		目標 () 実績	() 実績	() 実績	() 実績		
達成状況説明 観光地や施設及びアクセス道路の草木の伐採等による景観美化作業を計画どおりに実施する事ができた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	観光地周辺の景観形成及び道路環境について、観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感ずるかを含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケート調査により検証する。		目標 () 実績	(80%以上) 96%	(80%以上) 93%	(80%以上) 95%	() 実績
			目標 () 実績	() 実績	() 実績	() 実績	() 実績
			目標 () 実績	() 実績	() 実績	() 実績	() 実績
	進捗状況説明 ・観光地周辺の景観形成及び道路環境について、観光地としてふさわしい景観及び道路環境であるとの回答結果が95%となり、目標を達成した。 ・優先順位や必要性の高い場所の選定を行いながら定期的に景観美化作業を行うことができた結果、安心安全な観光客の受入体制の整備を行うことができたとする。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・梅雨や台風等の気象条件の影響による作業効率の低下や、草木の成長が著しい夏場において、美化作業の遅れが生じることがある。 ・気温が上昇する夏場には作業員の体調面の負担が大きく、作業効率維持の課題となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・気象条件の影響や作業員の体調面の負担を減らすため、計画的な作業実施や、除草剤の活用を検討する。 ・作業効率向上を図るために、新規備品の購入を検討する。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・気象条件や繁忙期等を勘案した作業実施の計画を行い、観光地としての通年での美化を目指す。 ・除草剤を活用するなど、美化作業員の作業効率向上に係る取組を推進する。 ・計画的な作業機械の更新を行っていく。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の用途の点検・評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は地方自治法施行令第167条の2第1項第3号の規定により選考を行い、また直接雇用の作業員については町の雇用促進の観点から公募、面接を行い採用しており妥当であると考えられる。 ○予算規模については、見積もり及び町条例に基づき算出しており事業に必要な予算規模であると考えられる。 ○費目、用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について支出等に関する書類において確認を適正であると考えられる。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-③ 運動公園施設等整備事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(9)-ア			
担当部署名	教育委員会 スポーツ振興課	事業実施(予定)年度	平成24~令和4年度	沖縄振興基本方針該当箇所	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	スポーツキャンプの誘致を図るため、運動施設の整備を行う。令和4年度においては、東風平サッカー場等の芝生管理委託業務、東風平野球場の肥料及び資材の購入を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額	A. 計(b+d)	24,600	114,231	15,994	15,334	15,334
		B. 執行済額	24,332	112,780	15,895	15,316	15,313
		うち交付金充当額	19,465	90,224	12,716	12,253	12,250
		次年度繰越額					
		執行率(%) (B/A)	98.9%	98.7%	99.4%	99.9%	99.9%
	予算の状況の説明	・東風平サッカー場においては芝生管理委託について予定通り執行することが出来た。 ・東風平野球場においては芝生管理に必要な肥料及び資材の購入について予定通り執行することが出来た。					
	活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況			
				R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
		サッカー場プロ仕様芝生整備	目標	()	()	()	(実施)
実績						実施	
東風平野球場の芝生用肥料及び資材等の購入		目標	()	()	()	(実施)	
		実績				実施	
達成状況説明	・東風平サッカー場においては、通年で芝生管理を行うことで冬場のサッカーキャンプやスポーツイベント、大会等の誘致開催をすることが出来た。 ・東風平野球場においては、芝生用肥料及び資材購入により芝生環境の整備を行うことで、野球キャンプの受入れ環境の向上を図ることが出来た。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	サッカーキャンプの受入れ(4件以上)	目標	()	(3件以上)	(4件以上)	(4件以上)	()
		実績		2件	4件	5件	
	野球キャンプの受入れ(4件以上)	目標	()	(5件以上)	(5件以上)	(4件以上)	()
		実績		3件	5件	6件	
	進捗状況説明	【野球キャンプ】 海外プロ野球チーム1件、県外社会人チーム1件、県外社会人野球大会1件、県外少年野球大会1件、プロ野球選手における自主トレ2件の受入れ実績となった。 【サッカーキャンプ】 Jリーグチーム3件、県外大学チーム1件、プロサッカー選手複数人による自主トレ1件の受入れ実績となった。					

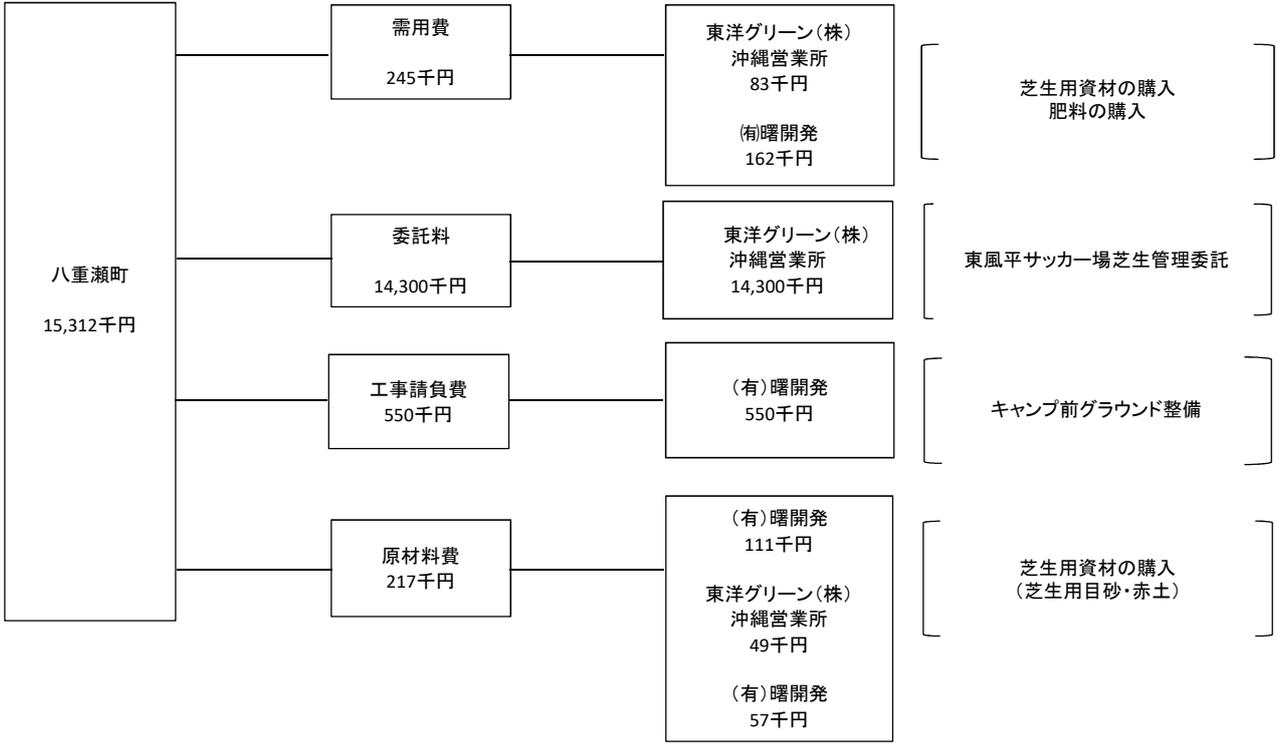
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	①サッカーキャンプ誘致における芝生管理 ・芝生管理を継続して行ってきたため、芝生の状態が改善されキャンプを受入れたチームも満足していた。 ②野球キャンプ 芝生管理に必要な肥料及び資材を購入し、施設の機能強化を図ったことから、昨年を上回るキャンプ予約数があった。	①サッカー場の施設環境 ・状態の良い芝生環境、芝生土壌の硬さや芝生の発育状況を継続できるように引き続き芝生管理を行う。 ②野球場 既存施設を生かしながら更なる機能強化の整備を図りつつ、キャンプ受入チームからの外野防球ネット設置要望にも対応できるよう継続して施設環境を整えたい。

今後の取り組み方針

- ①サッカーキャンプ
 キャンプチームからの要望でもある継続的な芝生管理を行うことで、芝生環境を整え施設の機能強化を図りたい。
- ②野球キャンプ
 ・引き続き既存施設を生かしながらの機能強化(防球ネット設置等)を図りたい。
 ・誘致件数の増加を図るため、町観光物産協会や旅行会社と連携して八重瀬町への観光の誘客につなげたい。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付対象		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
15,313	15,313	12,250	3,063	



資金の用途の点検・費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○東風平サッカー場芝生管理委託は地方自治法施行令第167条の2第1項第2号に基づき随意契約を行っており妥当である。 ○東風平野球場機能強化工事は国土交通省の歩掛、または複数業者見積を参考として設計額を算出しており、予算規模は適正だった。 ○受益者負担なし。 ○費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものに限定されているかについて、工事・委託検査の際に支出等に関する書類により精査及び検査を行っており適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-④	YAESE 結 フェスタ事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第6章-3-(3)-(イ)		
担当部署名	総務部 企画財政課	事業実施(予定)年度	平成29～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	歴史文化の継承・発展及び観光振興		
事業内容	八重瀬町の観光地認知度向上を図るため、町特有の地域資源を活用したイベントを行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		15,000				
			15,000				
			0	0	0	0	0
			0				
		B. 執行済額	18,396				
		うち交付金充当額	14,716				
		次年度繰越額					
		執行率(%) (B/A)	122.6%				
		予算の状況の説明	新型コロナウイルス感染症対策の必要性から来場者数を制限したが、八重瀬町をより広くPRするためにテレビ番組制作費を増額した。				
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	イベントの開催支援	目標	(支援実施)	()	()	()	
		実績	支援実施				
	YAESE 結 フェスタ事業(仮称) 来場者 32,000人以上	目標	(32,000人以上)	()	()	()	
実績		5,396人					
達成状況説明	「YAESE 結 フェスタ2022」の開催に向けて実行委員会へ補助を行い、10月30日にイベントを開催することができた。12月18日、「YAESE 結 フェスタ2022」を特集したテレビ特別番組を放送し、町内外へ広く八重瀬町をPRした。新型コロナウイルス感染症対策のため、会場の規模を縮小したことにより来場者は目標の32,000人を下回ったが、オンライン視聴者数とテレビ番組視聴者数は合わせて56,704人となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	開催支援を行ったイベントへの来場者数 32,000人以上	目標	()	(32,000人以上)	()	()	()
		実績		5,396人			
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策に必要な感染防止策実施のため、会場の規模を縮小したことにより来場者は目標の32,000人を下回った。 ・会場の人数制限は最大5,000人を想定し、来場者数は延べ5,396人(受付名簿やキッチンカーの売上げ等から算出)となった。 ・視聴者数は56,704人(YouTube配信6,724人+テレビ番組視聴者数49,980人)となった。 						

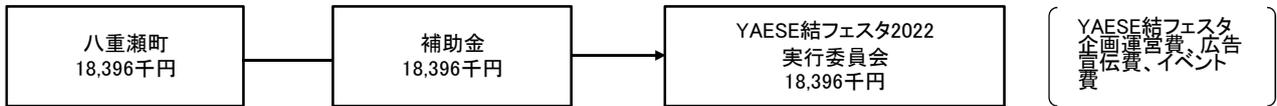
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染拡大により、人数制限や来場者の追跡対策等が必要となり、通常規模での実施ができず来場者数は当初目標の32,000人を下回った。 ・多くの制約がある中での開催であったが、地域資源をブラッシュアップした八重瀬町特有の演目や、世界のウチナーンチュ大会参加者との連携、テレビ・YouTube・SNS等のメディア発信により、八重瀬町の観光認知度の向上が図られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当初計画より感染症対策等を想定し、リアル開催だけではなくメディア等による発信も合わせて検討する。 ・八重瀬町特有の地域資源である自然や歴史・文化・芸能の情報を定期的に発信するなど、情報発信を強化することで町の観光認知度向上を図り、来場者数の増に繋げる。 ・新型コロナウイルス感染症収束後のインバウンド需要の回復にも対応できるよう、多言語表示の案内板や、多言語によるSNSを活用した情報発信等を充実させ、更なる誘客効果を図る。

今後の取り組み方針

- ・観光関連事業者や町観光物産協会と連携し、多様な観光メニューの開発やフェスタ開催時に誘客効果のあるコンテンツの開発を行い、誘客イベントとして充実した取り組みを実施する。(町の民俗芸能が一堂に会した演目、町特有の自然を活かしたツアー、キッチンカーフェスの同時開催など)
- ・観光HPやSNSを活用した多言語による情報発信を強化する。
- ・十分な自主財源を確保し、持続可能な体制の構築を図る必要がある。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
18,396	18,396	14,716	3,680	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先はYAESE結フェスタ実行委員会補助金交付要綱第2条に基づき交付しているため妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、見積書等を勘案しより安価で効果的な予算使途に限定しているため適正である。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について精査し執行しており適正である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑤	八重瀬町観光プロモーション事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ		
担当部署名	総務部 企画財政課	事業実施(予定)年度	平成26～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	多彩かつ質の高い観光の推進		
事業内容	町内への観光誘客のため、観光プロモーションを実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		5,031	20,617	6,178	6,192	6,228
			5,208	8,413	5,508	5,071	5,084
			177	▲12,204	▲670	▲1,121	▲1,144
			0	0	0	0	
		B. 執行済額	4891	6107	5421	5,016	4,422
		うち交付金充当額	3912	4884	4884	4,012	3,538
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	93.9%	72.6%	98.4%	98.9%	87.0%
		予算の状況の説明	当初人件費を2名分(7月～3月)計上していたが、1名が8月途中からの採用となり、人件費分が減ったため執行率が87.0%となっている。				
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	プロモーションの企画提案実施 6回以上	目標	(6回)	(6回)	(6回)	(6回)	
		実績	16回	17回	14回	16回	
SNS等による八重瀬町観光情報の発信 100回以上	目標	(100回以上)	(100回以上)	(100回以上)	(100回以上)		
	実績	561回	618回	798回	627回		
	達成状況説明	・当初観光プロモーション支援員を2名を予定していたが、1人の採用が8月となった。 ・八重瀬町公式キャラクター「やえせのシーちゃん」を活用したプロモーションや、八重瀬町観光拠点施設「南の駅やえせ」への誘客イベント等、支援員が企画提案・運営管理する観光プロモーションを16回実施した。 ・昨年度に引き続きSNSを活用した情報発信を強化した。SNS等による発信回数は672回となった。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(R4年度)
	主要観光施設の入域客数 267,000人以上	目標	()	(290,000人)	(107,000人)	(267,000人)	(267,000人)
		実績		約267,000人	約205,000人	約173,000人	
		目標	()	()	()	()	()
実績							
	進捗状況説明	・前年度同様、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、八重瀬町観光拠点施設(南の駅やえせ)への集客が伸び悩んだ。新型コロナウイルス感染症対策マニュアルを元に観光イベントを3回企画したが、天候不良のため、2回中止となった。 ・昨年度同様SNSを活用した情報発信を強化した。YouTubeを活用した動画配信、Instagramでのフォトコンテストを行った。 ・南の駅やえせが指定管理者変更のため、3月中旬より閉館となり、令和5年5月にリニューアルオープン予定。					

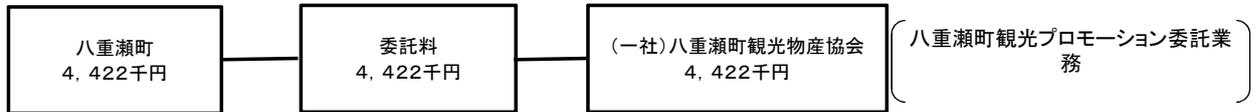
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 八重瀬町観光拠点施設「南の駅やえせ」の来場者数は年々増加していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりR2年度以降観光客が前年度を下回っている 八重瀬町観光拠点施設「南の駅やえせ」で、集客をともなう屋外イベント(手作り市)は、天候に左右されることがあり、安定した開催が難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 南の駅が令和5年5月よりリニューアルオープン予定であるので更なる魅力を各SNSを活用し、発信することで観光客の誘客を図る。 コロナの感染状況によって、誘客が難しい場合もあることから、SNSでの情報発信に注力しているが、観光スポット以外にも文化や生活の様子を感じ、潜在化している魅力を感じてもらえる情報発信にしていけるように検討する。 集客をともなうイベントは屋外開催が多いが、屋内でも集客できるイベントの企画を行う。

今後の取り組み方針

- ・町観光コンテンツの魅力をわかりやく伝えるため、八重瀬町を認知・周知してもらうよう各SNSの活用を強化する。
- ・各SNSのアクセス数を増やす取組みとして、影響力のある方々との共演を推進する。(閲覧している年齢層は、18~44歳であり、ターゲットは、旅行意欲の高い、10代~30代をターゲットにして情報発信を行っています。)
- ・短時間に集中した屋外による誘客イベントから中長期的に集客できるイベントを年間を通して継続的に開催できるように取り組んでいく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
4,422	4,422	3,538	884	



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○選定方法は、地方自治法施行令第167条の2第1項第6号を根拠に実施しているため妥当であったと考える。 ○八重瀬町契約規則に基づき予算執行しているため妥当であったと考える。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑥	八重瀬町スポーツ観光交流屋内運動施設調査事業	新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(9)-ア			
担当部署名	八重瀬町教育委員会 スポーツ振興課	事業実施 (予定)年度	令和4年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	各種スポーツキャンプやスポーツイベント等の誘致強化を図るため、既設敷地を雨天時の屋内運動施設として、用途変更、長寿命化、また整備に向けての必要な調査を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額					10,758
		(b) 予算現額					10,758
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 繰越額					
	A. 計(b+d)		0	0	0	0	10,758
	B. 執行済額						10,450
	うち交付金充当額						8,360
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)						97.1%
予算の状況の説明		予算の不要額の発生については、委託の入札残によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	旧具志頭小学校体育館の建物劣化度調査及び屋内運動施設リニューアル調査業務の委託を行う。	目標	()	()	()	(実施)	
		実績				実施	
	目標	()	()	()	()		
	実績						
達成状況説明	旧具志頭小学校体育館の調査業務を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値 (年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (年度)
	①現地調査業務	目標	()	()	()	(調査業務の実施)	()
		実績				調査業務完了	
	②各種法規検討業務	目標	()	()	()	(調査業務の実施)	()
		実績				調査業務完了	
	③建物劣化度調査業務	目標	()	()	()	(調査業務の実施)	()
		実績				調査業務完了	
	④建物耐震診断業務	目標	()	()	()	(調査業務の実施)	()
		実績				調査業務完了	
	⑤利活用提案業務	目標	()	()	()	(調査業務の実施)	()
実績					調査業務完了		
⑥概算工事費算出業務	目標	()	()	()	(調査業務の実施)	()	
	実績				調査業務完了		
進捗状況説明	①現地調査業務 建物や現地調査(アスベスト調査等)を行った。 ②各種法規検討業務 建築基準法、消防法、都市計画法、沖縄県保全条例、景観条例、耐震改修促進法等の検討業務を行った。 ③建物劣化度調査業務 構造体より供試体を採用し劣化度調査を行った。 ④建物耐震診断業務 耐震診断の必要性の確認を行ったところ、『新耐震基準』以降の設計により耐震診断は不要となった。 ⑤利活用提案業務 旧体育館の改修提案、内装、電気設備、機械設備、空調設備等の提案を行った。 ⑥概算工事費算出業務 内装、各種設備工事を取りまとめて概算工事費の算出を行った。						

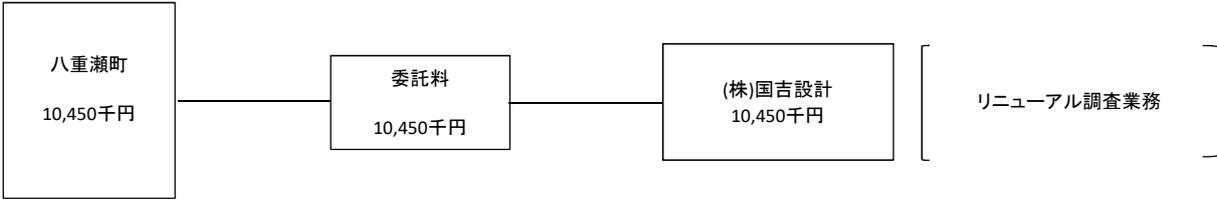
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・建物調査時に雨漏りがあることが判明し腐食部分の取り換えが必要となった。 ・建物劣化調査で構造体の判定が健全と評価となった。 ・旧体育館のリニューアル調査を行っている際に、利用開始後、スポーツイベントやスポーツキャンプを受入れるには、駐車場が不足することが分かった。 ・スポーツキャンプ受入れにおいて、どのスポーツ種目を受入れるかにより、改修内容(方法)が異なることから具体的に決めることが必要となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・雨漏り補修のために、屋根材の葺き替えを行うには建築確認申請が再度必要となり、『大規模修繕(屋根)』として申請を行う。 ・今後の建物劣化を防止するために、実施設計で検討を行っていく。 ・駐車場の不足については、実施設計にて詳細に検討(駐車台数等)を行い、計画的に変更を行っていく。 ・早めに沖縄県や各市町村、各スポーツチームと密に調整を行い早期に周知することで誘致を図っていく。

今後の取り組み方針

・施設リニューアルの実実施設計業務を早期発注を行い不用額を未然に防ぐため、計画的に変更申請にて減額等の対応をし不用額の縮減に努めたい。
 ・スポーツキャンプやスポーツイベント等を受入れをおこなうために、沖縄県スポーツ協会と協議を行う。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
10,450	10,450	8,360	2,090	



資金の用途の点検・費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業務は、本町指名審査会で選定し、指名競争入札により実施しており妥当であったと考える。 ○委託業務費は沖縄県土木建築部の歩掛、または複数業者見積を参考として設計額を算出しており、予算規模は適正だった。 ○費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものに限定されているかについて、委託検査の際に支出等に関する書類により精査及び検査を行っており適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	放課後児童クラブ利用者負担軽減事業	新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(1)-(イ)			
担当部署名	民生部 児童家庭課	事業実施 (予定)年度	令和4～令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	貧困状態にある子どもへの支援 Ⅲ-4-(1)		
事業内容	放課後児童クラブを利用する非課税世帯に対して保育利用料を減免した、放課後児童クラブへ補助を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	985				
		(b) 予算現額	1,350				
		(c) 増減額 (b-a)	365				
		(d) 繰越額					
	A. 計 (b+d)		1,350				
	B. 執行済額		1,275				
	うち交付金充当額		1,020				
	次年度繰越額						
	執行率 (%) (B/A)		94.4%				
予算の状況の説明		既存の非課税世帯に加え、ひとり親世帯を拡充したこと、新規児童クラブの開所(2か所)があり、当初見込みより該当世帯が増えたことで、補正で増額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	非課税世帯に対して保育利用料を減免している児童クラブへ補助を行う。		目 標 (実施) () () ()				
			実 績 実施				
達成状況説明	町内の放課後児童クラブ(13クラブ)に対して、一人当たり月額5,000円の補助を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値 (年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (年度)
	保護者が、本事業により、就労できた又は就労を継続できたか、経済的な負担軽減につながったか(80%以上)についてアンケート等により検証する。		目 標 () () () (80%) ()				
			実 績			100%	
	進捗状況説明	円滑に支援できたことで目標を達成し、ひとり親家庭等の生活の安定に寄与することが出来た。引き続き事業継続の要望が保護者より多数ある。					

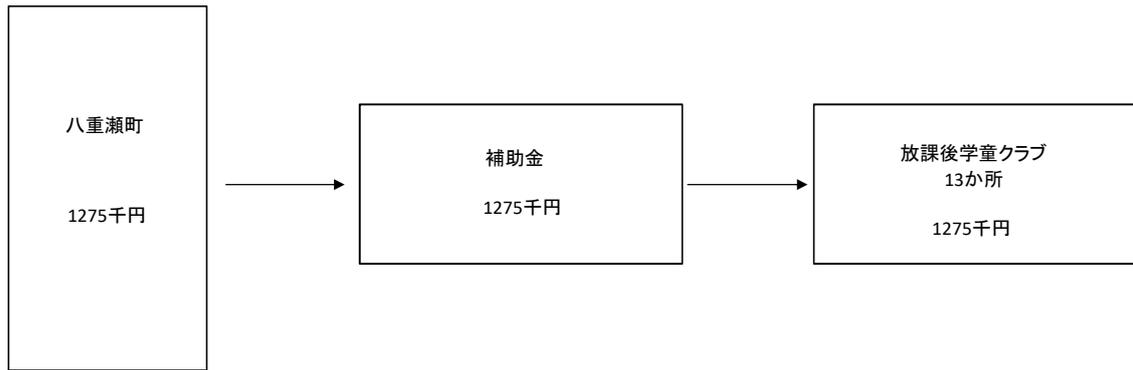
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・「非課税世帯」「ひとり親世帯」の切り替え更新時期が異なるため、更新事務手続き作業が年2回発生している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学童クラブ職員が制度の仕組みを理解できるよう図式化で説明したり、事務作業の連携を強化する。 また、更新が滞らないよう学童クラブと役場が連携していく必要がある。

今後の取り組み方針

・今回のアンケートにおいて、100%の保護者が「減免することで家計が助かった。引き続き事業を実施して欲しい」との要望がある。本事業についてホームページや広報等で事業の周知を行っていく。
 ・事務手続きが滞らないよう、利用者からの申請状況を適宜共有するなど学童クラブと役場の連携を密にする。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
5,080	1,275	1,020	255	3,805



資金の 用途の 流れ、 費目、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は八重瀬町放課後児童健全育成事業補助金要綱第3条に基づき交付されているクラブである為、妥当であったと考える。 ○R4年度クラブに登録されているひとり親、非課税世帯の人数により積算されており、予算規模は適正であると考え。 ○受益者である各学童に対する補助額は、学童保育料5,000以内であること、また、保護者の減免分を補助額として負担しているのが妥当だと考える。 ○費目・用途については保育利用料を減免した学童クラブからの実績報告をもとに補助をしたため、適正だと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	農業用機械施設整備事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	4章-3-(7)-(7)		
担当部署名	経済建設部 農林水産課	事業実施(予定)年度	平成24~令和4年度	沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の強化 Ⅲ-1-(6)		
事業内容	新規就農者等に対し農業用機械(トラクター)を貸し出しをすることで農作業の機械化及び効率化を推進し、農業経営の安定化を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)						9,091
							7,612
			0	0	0	0	▲ 1,479
							0
			0	0	0	0	7,612
	B. 執行済額					7,612	
	うち交付金充当額					6,089	
	次年度繰越額					0	
	執行率(%) (B/A)						100.0%
予算の状況の説明	入札残による減額						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	農業機械の導入 トラクター(33馬力) 33馬力用ブラシイラ	目標	()	()	()	(1台)	
		実績				1台	
	農業機械の導入 トラクター(19馬力)2台 19馬力用植付機 2台 19馬力用スクープ 2台	目標	()	()	()	(2台)	
		実績				2台	
達成状況説明	農業機械(トラクター)を導入した。 【内訳】トラクター(33馬力)1台(付帯機材:33馬力用ブラシイラ)、トラクター(19馬力)2台(付帯機材:19馬力用植付機、19馬力用スクープ)						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	農業機械の導入 トラクター(33馬力) 33馬力用ブラシイラ	目標	()	()	()	(1台)	()
		実績					1台
	農業機械の導入 トラクター(19馬力)2台 19馬力用植付機 2台 19馬力用スクープ 2台	目標	()	()	()	(2台)	()
		実績					2台
	進捗状況説明	農業機械(トラクター(33馬力)1台、トラクター(19馬力)2台)を導入した。 貸出開始令和5年1月中旬、現在までにトラクター(33馬力)利用者が4名、トラクター(19馬力)利用者が5名が使用済み。4月以降がさとうきびの肥培管理時期なので、貸出回数も増える見込みが予測される。					

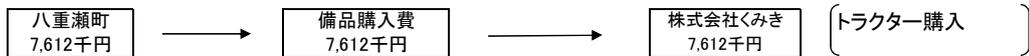
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>機械の利用者は、兼業農家が主な利用者なので休日に利用がかぶり利用しづらい時期も多少出てくることが予想される。</p>	<p>利用者がかぶる場合は、圃場面積に対しての作業耕効率図れるような機械の貸出方等の工夫・対応必要になってくる。</p>

今後の取り組み方針

- ・修繕費用が高額にならないように機械のメンテナンスは欠かさず行う必要がある。
- ・利用者がかぶらない取組みとして、圃場面積に対しての作業耕効率を良くするため、圃場面積が大きい農家には大型のトラクターを貸出し、圃場面積が大きい農家には小型のトラクターを貸出す。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
7,612	7,612	6,089	1,523	0



資金の用途の点検・費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定方法は指名競争入札により実施しており妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○機械の貸し出しの際に使用料を徴収しており受益者負担は適正である。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名	八重瀬町						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-②	八重瀬町地産地消フェア事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(7)-ウ		
担当部署名	経済建設部 農林水産課	事業実施 (予定)年度	平成26～令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	多様なニーズに対応するフード バリューチェーンの強化		
事業内容	拠点産地に指定されている農作物等や畜産物・水産物及びそれらを使用した加工品等について、町内外店舗でのイベント開催を通じて地場産業の情報発信や展示販売等を実施し、農林水産業の振興を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	4,000				2,300
		(b) 予算現額	4,000				2,300
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 繰越額	0				0
	A. 計 (b+d)		4,000	0	0	0	2,300
	B. 執行済額		3,999				2,051
	うち交付金充当額		3,199				1,641
	次年度繰越額		0				0
	執行率(%) (B/A)		100.0%				89.2%
予算の状況の説明		予算は、事業内容に即した適正額であったため、事業計画どおりの執行となっている。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	八重瀬町地産地消まつり等の開催支援		目標 (開催支援)	(開催支援)	(開催支援)	(開催支援)	
			実績	新型コロナウイルス感染症対策の為、中止	新型コロナウイルス感染症対策の為、中止	新型コロナウイルス感染症対策の為、中止	支援実施
	農産物のPR		目標 (PR)	(PR)	(PR)	(PR)	
			実績	新型コロナウイルス感染症対策の為、中止	新型コロナウイルス感染症対策の為、中止	新型コロナウイルス感染症対策の為、中止	PR
達成状況説明	フェア開催を支援することで、地場産業の情報発信に加えて、地元の野菜に再度、関心を持っていただいた。また、仲介業者に野菜ソムリエの方がいて、消費者にうれしい調理法や保存法を伝授し、来場者から好評の声が多かった。フェアを共催した店舗も地元根付いた取り組みができて、フェアの内容が充実していた。このイベントを通じて展示販売、地場産業の発信を実施することで本町の農作物等の周知が図られた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
			目標 ()	(2,000)	(2,000)	(4,100)	()
	地産地消まつり来場者数:4100人以上		実績	0	0	4,450	
	進捗状況説明	地場産業(農作物水産等)等のPRを図るため、地場産業を活用したイベント「八重瀬町地産地消フェア」を開催したところ、フェアに各店舗合計約4,450名(1日目:1,999名、2日目:2,451名)が訪れた。八重瀬町の魅力ある地場産物を効果的に発信することで、本町の農林水産業の活性化に繋がった。					

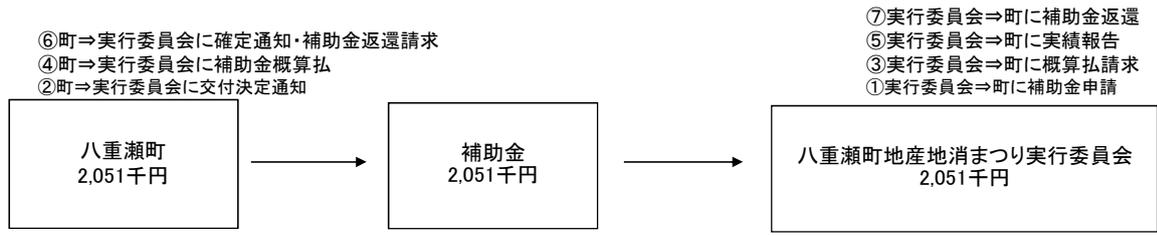
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>○実際に農業生産法人や農家の方が消費者に直面することで、働きがい、やりがいも感じ取れて、士気があがっていた。</p> <p>○店舗により陳列方法が異なったため、次回開催時は基準を設けた方が良いと考える。</p> <p>○シーちゃんや保育園児を呼ぶことで来場者数の増加が感じられたため、今後は幅を広げて、小学生や中学生等にも参加できるような参加型イベントにしていき、費用対効果の増大を図る。</p>	<p>○次回からアンケート等を行い、消費者のニーズや地場産業についての分析を行う。</p> <p>○町内にのみチラシの折り込みを行っていない為、町外にも効果的に情報発信できる方法を検討する。</p> <p>○開催場所を南の駅やえせ等に変化させ、消費者の流動を南北に図ること、街から畑に景色が変化し、視覚的にも農林水産業の関心度の向上を図っていきたい。</p>

今後の取り組み方針

○今後開催場所を変化させ、消費者の流動も回り、消費喚起を図りたい。
 ○SNSを使った情報発信を行い、町内だけでなく町外にも広く伝わるように努める。
 ○地場産業の発信の為、八重瀬町観光物産協会等も共催で開催し、費用対効果の増大を図る。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
2,051	2,051	1,641	410	0



(補助内容)

野菜販売・刺身移動販売委託料
 野菜販売委託料(町内)395,186円
 野菜販売委託料(町外)475,609円
 刺身移動販売委託料(町内)497,260円

広告費(チラシ、ポスター、のぼり等)
 運営費等

資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の実行委員会の実行委員は地域団体関係者で構成されているため妥当である。 ○予算の規模は、事業内容に即した適正額であったため、事業計画通りの執行となっている。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について精査し執行しており適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-①	若い世代からの健康づくり推進事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(3)-ア		
担当部署名	民生部 健康保険課	事業実施(予定)年度	令和1～令和5年度	沖縄振興基本方針該当箇所	「健康・長寿おきなわ」の復活 Ⅲ-4-(2)		
事業内容	生活習慣病の発症予防・重症化予防を目的に、実物大のフードモデル(食育SATシステム:体験型栄養教育システム)を活用した栄養相談や食に関する啓発を行い、事業参加者の食に対する意識や健康観の向上を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		6,717	3,598	3,554	3,534	
			6,717	3,598	3,554	3,534	
			0	0	0	0	
			0	0	0	0	
		B. 執行済額	6,591	3,493	3,504	3,447	
		うち交付金充当額	5,272	2,794	2,802	2,758	
		次年度繰越額	0	0	0	0	
		執行率(%) (B/A)	98.1%	97.1%	98.6%	97.5%	
		予算の状況の説明	概ね計画どおりに執行できた。不用額86千円については、会計年度任用職員の共済費残額や消耗品数量の減などによるものである。				
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)	達成状況					
		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	食育SATシステムを活用した理解しやすい事業の展開	目標 (事業の展開)	(事業の展開)	(事業の展開)	(事業の展開)		
	実績	事業の展開	事業の展開	事業の展開	事業の展開		
	達成状況説明	健診結果説明会等の各保健事業や地域の活動(ミニデイサービス)にて食育SAT体験を63回実施(食育SAT体験者数618人)し、日頃の食生活における意識の向上を図った。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)	基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)	
	各種事業参加者の食に対する意識や健康観の向上(80%以上)を含め、アンケートにより当事業のあり方について検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績		95%	97%	95%	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	・アンケート調査による検証の結果、95.1%の方から「食事を改善したい」との回答が得られた。 ・また、自由記載の欄では「今までで一番食事について考えさせられ、改善したいと思った」「理想の食事を…ではなく、今の食事にプラスするものを提案してくれたので実行に移しやすい」など、肯定的な意見が聞かれた。					

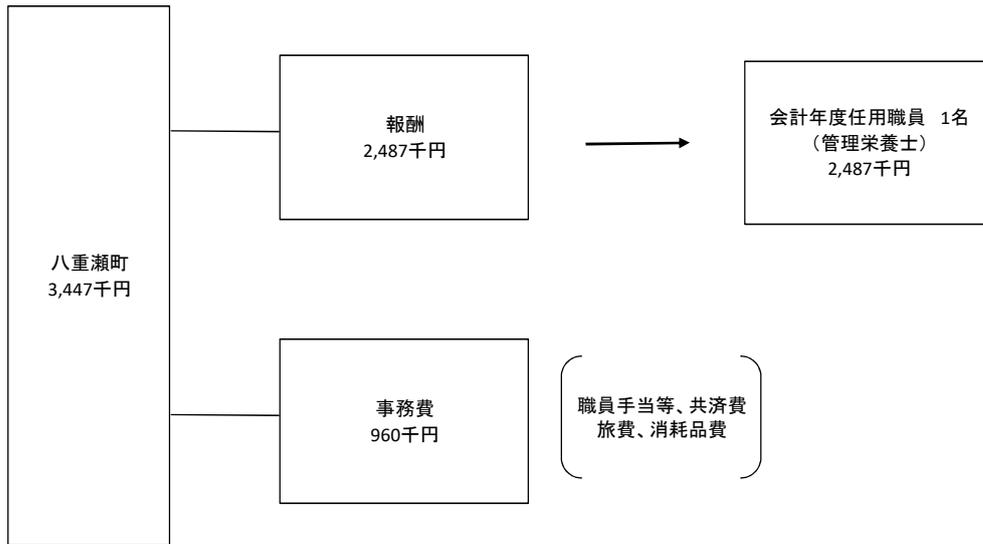
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>(事業参加者の食に対する意識や健康観の向上)</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケート調査の結果から、約9割の方がこれまでに受けた栄養相談(指導)と比較して、食育SATシステムを活用した栄養相談の方が分かりやすかったと回答しており、食育SATシステムの活用及び理解しやすい事業を展開したことが、目標達成の要因と考えられる。 若い世代(20~40代)の体験者は前年度より増加しているものの、以前少ない状況である。 	<p>既存の保健事業では若い世代が少ないため、地域の行事への介入や他部署との連携を図る必要がある。</p>

今後の取り組み方針

- 若い世代への介入を目的として、地域への介入や他部署の事業との連携を図り、若い世代の体験者数を増やす。
- より多くの住民・年齢層へ食育SATシステムの活用及び食に関する啓発を行えるよう、事業を展開する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
3,447	3,447	2,758	689	0



資金の流し、用途の点検・費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○会計年度任用職員については公募、面接を行い採用しており妥当であると考えます。</p> <p>○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。</p> <p>○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		八重瀬町					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-②	具志頭運動公園健康増進機能強化事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(9)-(イ)		
担当部署名	八重瀬町教育委員会 スポーツ振興課	事業実施(予定)年度	令和2～令和4年度	沖縄振興基本方針該当箇所	県民等が主体的に参画するスポーツ環境の整備 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	県民等の主体的なスポーツ参画で健康な体づくりを促す生涯スポーツであるパークゴルフ場、ウォーキングコース等を整備し、利用者の健康増進を図る。						
効果発現年度	■当年度 ■後年度(令和5年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	
		(a)当初予算額	0	0	168,783	0	40,000
	(b)予算現額	118,170	0	212,761	0	66,181	
	(c)増減額(b-a)	118,170	0	43,978	0	26,181	
	(d)繰越額	0	61,315		119,526		
	A.計(b+d)	118,170	61,315	212,761	119,526	66,181	
	B.執行済額	56,855	60,365	93,235	118,411	66,176	
	うち交付金充当額	45,483	48,293	74,588	94,728	52,940	
	次年度繰越額	61,315	0	119,526			
	執行率(%) (B/A)	48.1%	98.5%	43.8%	99.1%	99.9%	
予算の状況の説明	予算の不要額の発生については、委託の入札残によるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
	コース整備工事の実施	目標	R2年度(繰越)	R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	
		実績	一部造成工事及び貯留施設の実施	施設整備工事の着手	施設整備工事(建築)の実施	コース整備工事の実施	
達成状況説明	工事の追加変更を年度内に完了し、令和4年度内での施設の利用開始を行うことができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(R5年度)
	①コース整備工事の完了	目標	()	基本・実施設計の実施、監理業務委託の実施	施設整備工事(建築)の着手	施設の供用開始	(80%以上)
		実績		基本・実施設計の完了	施設整備工事(建築)の完了	施設の供用開始	
	②供用開始	目標	()	基本・実施設計の実施、監理業務委託の実施	施設整備工事(建築)の着手	施設の供用開始	(80%以上)
		実績		基本・実施設計の完了	施設整備工事(建築)の完了	施設の供用開始	
	③南部圏域でのイベント実施	目標	()	基本・実施設計の実施、監理業務委託の実施	施設整備工事(建築)の着手	施設の供用開始	(80%以上)
		実績		基本・実施設計の完了	施設整備工事(建築)の完了	施設の供用開始	
【R5成果目標】生涯スポーツに対する意識や健康観の向上が図られたか(80%以上)を含め、利用者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	()	()	()	()	(80%以上)	
進捗状況説明	①コース整備工事の完了することができた。 ②施設の供用開始を行う事ができた。 ③町内の各自治体を招いてのイベントはできたが、南部圏域でのイベントはまだ実施できていないが、今後行っていく。						

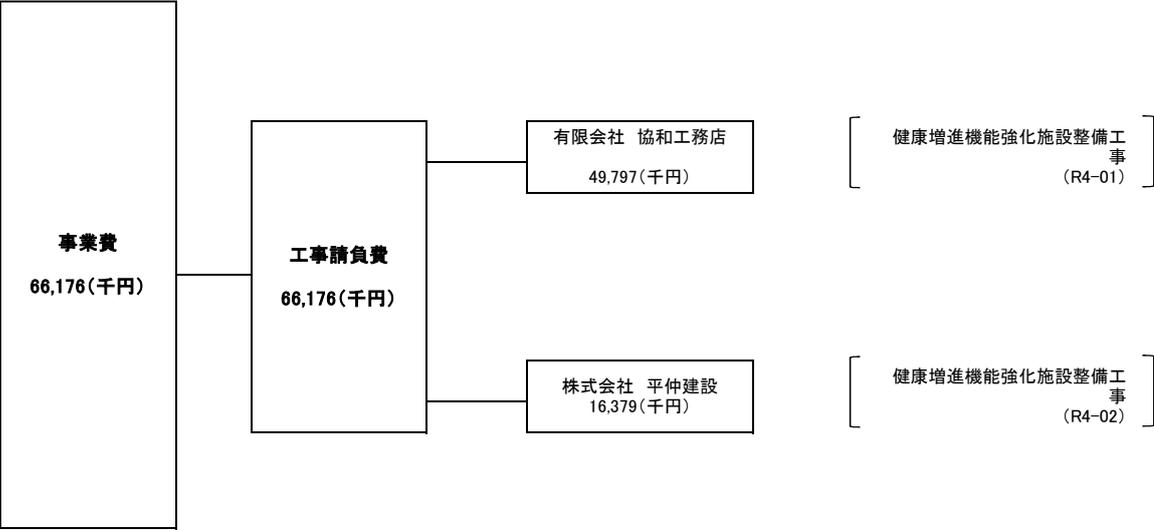
推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(施設の供用開始) ・施設の工事完了に伴い年度内での共用開始を行う事ができた。	(施設の供用開始) ・施設の工事完了に伴い年度内での共用開始を行う事ができた。
	(年間利用客数6千人の増加) ・供用開始後、天候不良や植栽の整備等で利用時間が限られ、目標の利用者の増加が見込めなかった。	(年間利用客数6千人の増加) ・継続した植栽への整備を進め、公認コースの認定を取得する。公認コースとしての認知度を生かした広報誌やイベントの情報発信を強化することで利用客数の増加を図る。
	(南部圏内でのイベント実施) ・新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針(令和5年2月10日変更)より、南部圏内でのイベント実施を検討したが、年度内での実施が困難となった。	(南部圏内でのイベント実施) ・南部圏内のパークゴルフ場や旅行代理店等と連携し、カップ戦やツアー等の観光メニューを充実させたイベント等で観光客数の増に繋げる。

今後の取り組み方針

・南部圏内自治体、旅行代理店等と連携し、パークゴルフ大会等を開催することで、年間利用客数6千人の増加を目指す。
 ・生涯スポーツに対する意識や健康観の向上が図られたか(80%以上)を含め、利用者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
66,176	66,176	52,940	13,236	0



資金の用途の点検・費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事及び委託については、本町指名審査会で選定し、指名競争入札により実施しており妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○工事費は沖縄県土木建築部の歩掛、または複数業者見積を参考として設計額を算出しており、予算規模は適正だった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものに限定されているかについて、工事検査の際に支出等に関する書類により精査及び検査を行っており適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-①	輸入感染症対策推進事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(3)-オ		
担当部署名	民生部 健康保険課	事業実施(予定)年度	令和2~令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	保健衛生の推進		
事業内容	近年沖縄県内において、外国からの観光客が急増しており、麻しん及び風しんの感染拡大が懸念されている。感染拡大を予防するにはMRワクチン接種が効果的であり、本町では予防接種法に基づき、1歳児と小学校就学前の児童に対し定期接種を実施している。MRワクチンの接種率を高め、外国人観光客受入に起因する麻しん・風しん集団感染の発生を防ぐ。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度	R4年度			
	予算の状況	(a)当初予算額	8,406	7,388	6,893		
		(b)予算現額	7,354	6,644	6,893		
		(c)増減額(b-a)	▲1052	▲744	0		
		(d)繰越額					
	A. 計(b+d)		7,354	6,644	6,893		
	B. 執行済額		7,354	6,452	5,856		
	うち交付金充当額		5,883	5,162	4,685		
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	97.1%	85.0%		
予算の状況の説明		不用額の発生については、予防接種実績によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度		
	麻しん及び風しん予防接種の実施(接種率95%以上)		目標 (95%)	(95%)	(95%)	()	
		実績	94.6%	89.4%	89.2%		
達成状況説明	R4年度MR1・2期予防接種券発送者数896件、R4年度MR1・2期接種者数800件であった。R4年度MRワクチン接種率は89.2%。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	外国人観光客受入に起因する麻しん・風しん集団感染の発生件数 0件		目標 ()	(0)	(0)	(0)	()
			実績	0	0	0	
進捗状況説明	活動目標の麻しん及び風しんの予防接種率は89.2%で目標を達成できなかったが、成果目標である外国人観光客受入に起因する麻しん・風しん集団感染の発生件数は0件であり、目標を達成できた。						

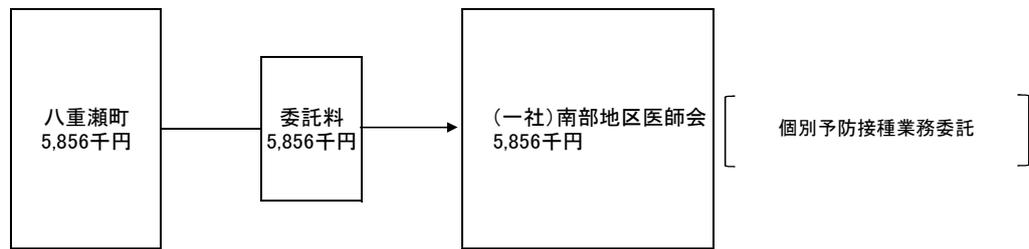
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>外国人観光客受入に起因する麻しん及び風しんの集団感染の発生件数は0だが、新型コロナウイルス感染症による受診控えの影響もあり、目標の接種率95%に届いていない。</p> <p>過去にも散発的に海外からの輸入例を契機とする麻しんの集団感染事例が起きており、MRワクチンの予防接種を受けるよう働きかける必要がある。</p>	<p>就学前健診での接種勧奨や保護者への電話での接種勧奨等、直接保護者へ接種勧奨する方法を活用する。</p> <p>接種期限を忘れる保護者がいるため、接種期限前に再度予診票・案内文の再送付を行う。</p>

今後の取り組み方針

- ・1歳児と小学校就学前の児童(6歳程度)に対し予防接種予診票の送付と定期接種を実施する。
- ・1歳半健診、就学前健診にて保護者へMRワクチン接種についての説明を行う。
- ・接種期限を迎えるワクチン未接種者に予防接種勧奨(就学前健診での接種勧奨、電話での接種勧奨、広報・町ホームページ等での接種勧奨)を実施する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
8,250	5,856	4,685	1,171	2,394



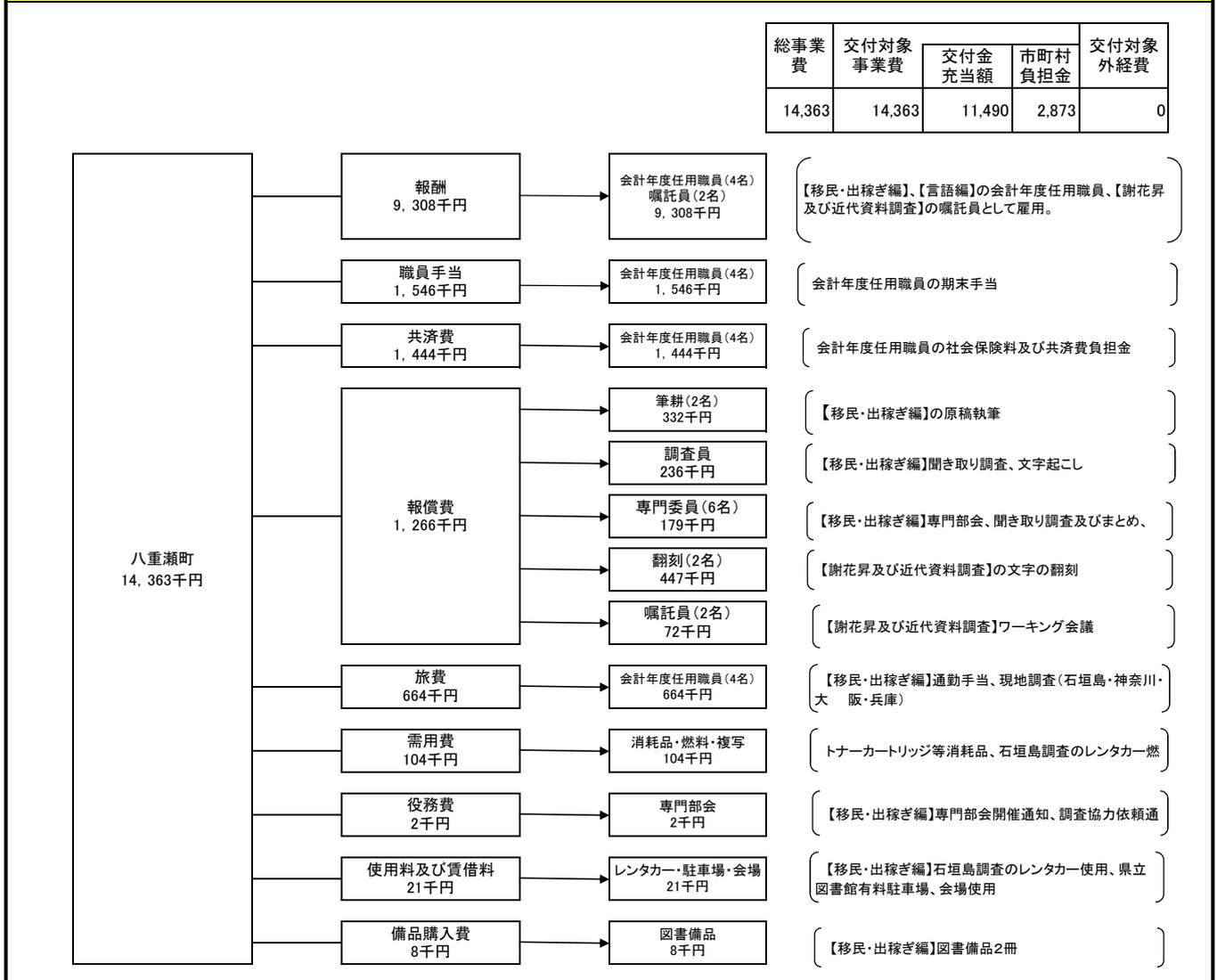
資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○町内医療機関を取りまとめている南部地区医師会と随意契約しており、支出先の選定方法は妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は事業内容に見合った規模であったと考えている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○予算の費目・使途については、事業目的に即し、必要なものであったと考えている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-①	八重瀬歴史文化継承事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-1-(4)-ア		
担当部署名	教育委員会 生涯学習文化課	事業実施(予定)年度	令和4～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄文化の継承・発展・普及		
事業内容	八重瀬町の歴史・文化の継承を図るため、八重瀬町の歴史・文化に関して調査、資料収集、編纂し、冊子として発刊する。発刊した冊子や調査成果を活用し企画展を開催する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		17,506				
			17,506				
			0				
	B. 執行済額		14,363				
	うち交付金充当額		11,490				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		82.0%				
	予算の状況の説明		会計年度任用職員病休での欠勤等で報酬の残や、聞き取り調査時に計画では40件の予定が、調査先との調整で、25件に減になり、聞き取り調査の日数の減による旅費の残などにより、3,143千円の不用額が生じた。				
活動目標 (指標) 及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	【移民・出稼ぎ編】 会議(3回)	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
	【移民・出稼ぎ編】 調査 八重山開拓に関する資料の収集および大阪大正区並びに神奈川県川崎区の八重瀬町人会へ聞き取りの現地調査。	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
	【言語編】 会議(3回)	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
	【言語編】 資料収集	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
【近代資料調査収集】 有識者会議(4回)	目標	(実施)	()	()	()		
	実績	実施					
【近代資料調査収集】 調査 横内文書調査 「沖縄時論27号」調査	目標	(実施)	()	()	()		
	実績	実施					
達成状況説明	・【移民・出稼ぎ編】については、専門部会を3回実施の予定であったが、コロナ禍において2回実施することができた。八重山・神奈川・大阪・兵庫における現地調査において、聞き取り調査及び資料収集、県人会や関係団体との情報交換をすることができた。企画展(調査報告展)については、現地調査で収集した資料・証言・撮影写真などを資料館において開催。また、世界のウチナーンチュ大会期間中に既存資料を基に「海を渡った世界のヤエセンチュの歴史」の企画展を開催した。 ・【言語編】については、専門部会及び集落へ入ったの調査を行うことができなかった。 ・【近代資料】については、明治期の沖縄県政関連公文書で那覇市が所蔵する横内家文書から八重瀬町関連文書を調査し、計画の9,000字の翻刻を行った。						
	R4成果目標(指標)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標値(年度)

成果目標 (指標) 及び進捗状況	企画展の開催:100人	目 標	(100人)	()	()	()	()
		実 績	185人				
進捗状況説明	企画展(調査報告展)については、185人の来場者があり、目標を達成することができた。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・【移民・出稼ぎ編】について、コロナ禍の事業実施ということもあり、聞き取り調査及び現地調査の日程並びに関係機関との調整に苦慮した。その中でも、聞き取り調査に関しては自治会長や老人クラブ会長を通じて可能な限り集落で実施することができ、貴重な証言をとることができた。	八重瀬町の歴史・文化の継承について、新型コロナウイルスの感染拡大防止策を講じながら、現地調査や聞き取り調査及び企画展の開催方法をどのように取り組んでいくかについて検討する。
	・地域の歴史文化や戦前の様子を知る方、言語に詳しい方が高齢化のため、年々減少している。早急に聞き取り調査や現地調査を行い、記録を残していくことが重要である。	・今後予定している【移民・出稼ぎ編】や【言語編】の刊行に向けて地域の歴史文化をよく知る方や言語に詳しい方々の協力を得るため、地域との関係性を深めて、情報を得やすい環境づくりが必要である。
	【近代資料調査収集】について、全国で所蔵可能性のある八重瀬町関連の近代資料の収集について、有識者より聞き取りを行い調査リストを作成し優先順位を明確にし調査にあたる必要がある。	【近代資料調査収集】について、近代資料調査収集有識者会議を開催し、資料所蔵可能性のある施設等のリストに基づいた調査を実施し効率的、効果的に事業を推進していく。
今後の取り組み方針		
企画展については、ウイズコロナの時代に向けて感染症対策を徹底し、安心して企画展に来場してもらうようにすることや、聞き取り調査時の事前調整でコロナ対策を徹底することを事前に相手方に周知理解してもらい、安心して聞き取り調査ができるように取り組む。		
地域住民との信頼関係を築く必要があるため、引き続き自治会等関係団体からの情報提供が得やすい環境づくりに取り組む。		
【近代資料調査収集】について、引き続き横内家文書の調査を継続しながら、県外の八重瀬町関連資料の調査を実施していく。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費目 ・	評価	点検項目	評価に関する説明
	-	支出先の選定方法は妥当か。	○予算規模については町条例等に基づき算出しており必要なものである。 ○費目、使途については会計年度任用職員の報酬や県外調査等の旅費等で、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-②	八重瀬町無形文化財活用推進事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-1-(4)-(イ) 文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり		
担当部署名	生涯学習文化課	事業実施 (予定)年度	令和4年度～令和6年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-3-(3)		
事業内容	八重瀬町内の多彩な無形民俗文化財等を教育や観光に広く活用するため鑑賞公演のパッケージ化並びに既存施設の機能強化を行い、新たな文化観光コンテンツを整備する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和7年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	9,835				
		(b)予算現額	7,338				
		(c)増減額(b-a)	▲2,497				
		(d)繰越額	0				
	A.計(b+d)		7,338				
	B.執行済額		7,337				
	うち交付金充当額		5,869				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		当初、「施設機能強化設計業務」に耐震診断を予定していましたが、建物が新耐震基準に適用していたため耐震診断等を含む実施計画分の2,497千円を減額しました。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	ワークショップ及び鑑賞公演のパッケージ化に向けた取り組み	目標	(5回)	()	()	()	
		実績	5回				
	テスト公演の実施	目標	(2回)	()	()	()	
		実績	2回				
	施設機能強化計画策定会議	目標	(4回)	()	()	()	
実績		5回					
達成状況説明	ワークショップ及び鑑賞公演のパッケージ化に向けた取組として、地域の民俗芸能団体、農業従事者、琉球伝統料理コーディネーター等と計4回協議を行いテスト公演(文化観光体験モニターツアー)を実施し、アンケート結果を基にニーズの分析、体験メニューの調整が図れた。機能強化計画策定会議を経て、実施設計を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	各種団体との協議	目標	()	(協議:4回)	()	()	()
		実績		協議:4回			
	ワークショップ及び公演内容の組み立て	目標	()	(内容:4演目)	()	()	()
		実績		内容:5演目			
	テスト公演による観覧者アンケートの実施	目標	()	(40件)	()	()	()
実績			37件				
施設機能強化計画策定		目標	()	(計画策定)	()	()	

実績

策定完了

進捗状況説明

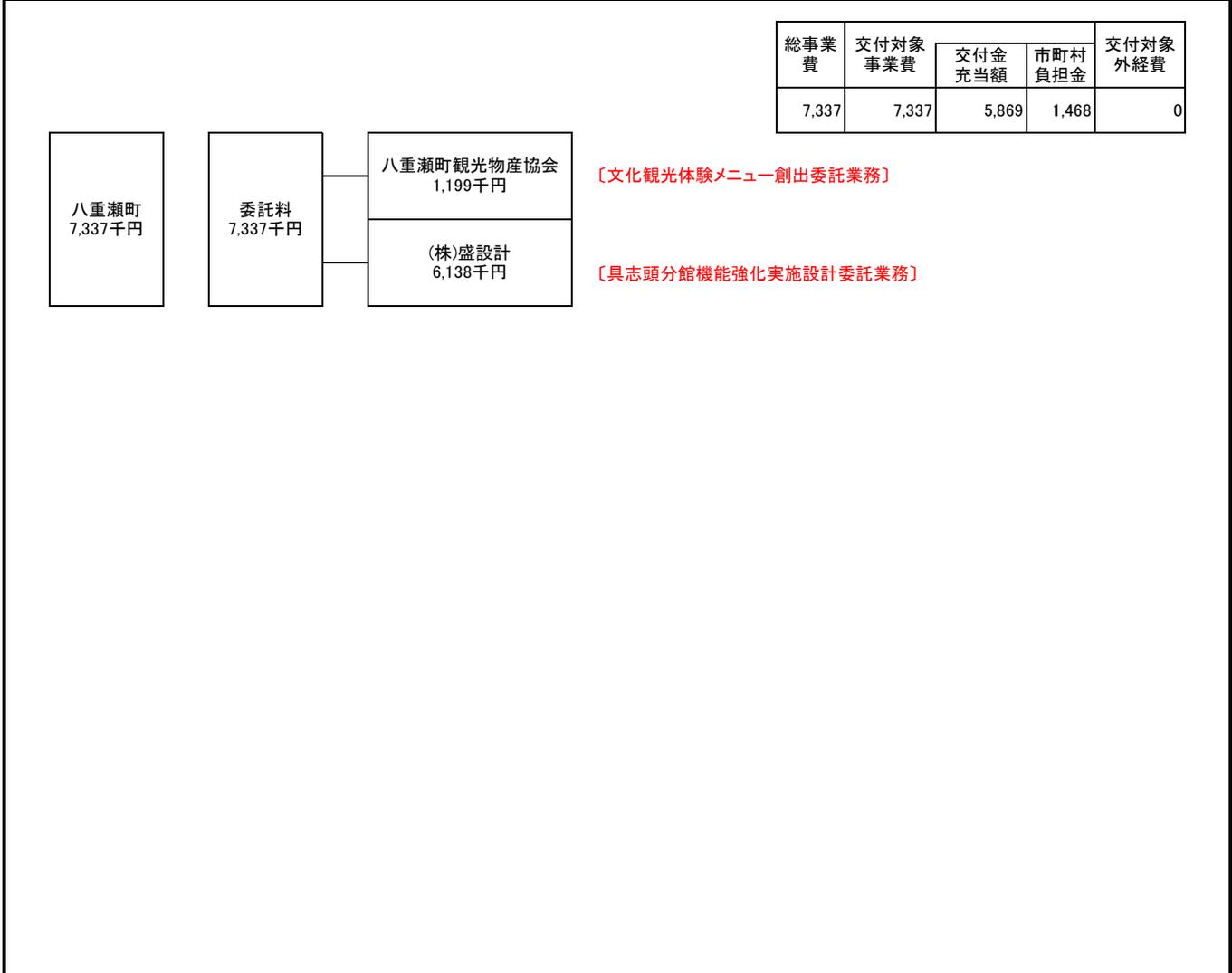
テスト公演による観覧者アンケートについては、文化観光体験ツアーのメニュー開発のためのアンケート趣旨に沿って独自性や評価点、改善点、その他お気づきの点として細やかな回答をいただき、ニーズや実施方法についてブラッシュアップを行った。
施設機能強化について、今後文化観光体験ツアーを実施するにあたり不足している機能を強化するための実施設計を行った。

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>テスト公演(文化観光体験モニターツアー)の募集を小中高生を対象に行ったところ、応募が少なかつたため、一般及び大学生を対象にそれぞれ実施した。アンケート結果によると、地域の伝統芸能や琉球料理のワークショップについては独自性を感じ高評価を得たが、農業体験について独自性や実施方法について改善点が多く見られた。</p>	<p>アンケート結果により特に多くの意見があった農業体験については、八重瀬町らしさや地域特色が弱いという指摘をふまえて品種や気候、実施方法について再構築し、地域特有の伝統料理の紹介を加えるなどによりモニターツアー応募の増加及び満足度の向上を図る。また、高評価を得た地域の伝統芸能についても、鑑賞以外のメニュー開発をさぐり、さらに満足度の向上を目指す。</p>

今後の取り組み方針

多くの指摘があった農業体験について、気温の高い季節の実施方法についてや、「農業体験」から「収穫体験」に内容を変更し実施する。また、独自性を高めるため八重瀬町が拠点産地となっている、ピーマンやオクラ、インゲン、マンゴーなどの品目に焦点を絞って実施する。高評価を得た地域の伝統芸能についても、実演体験メニューを追加し実際に体験することで、更なる満足度の向上を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の用途の点検・費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。</p> <p>○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

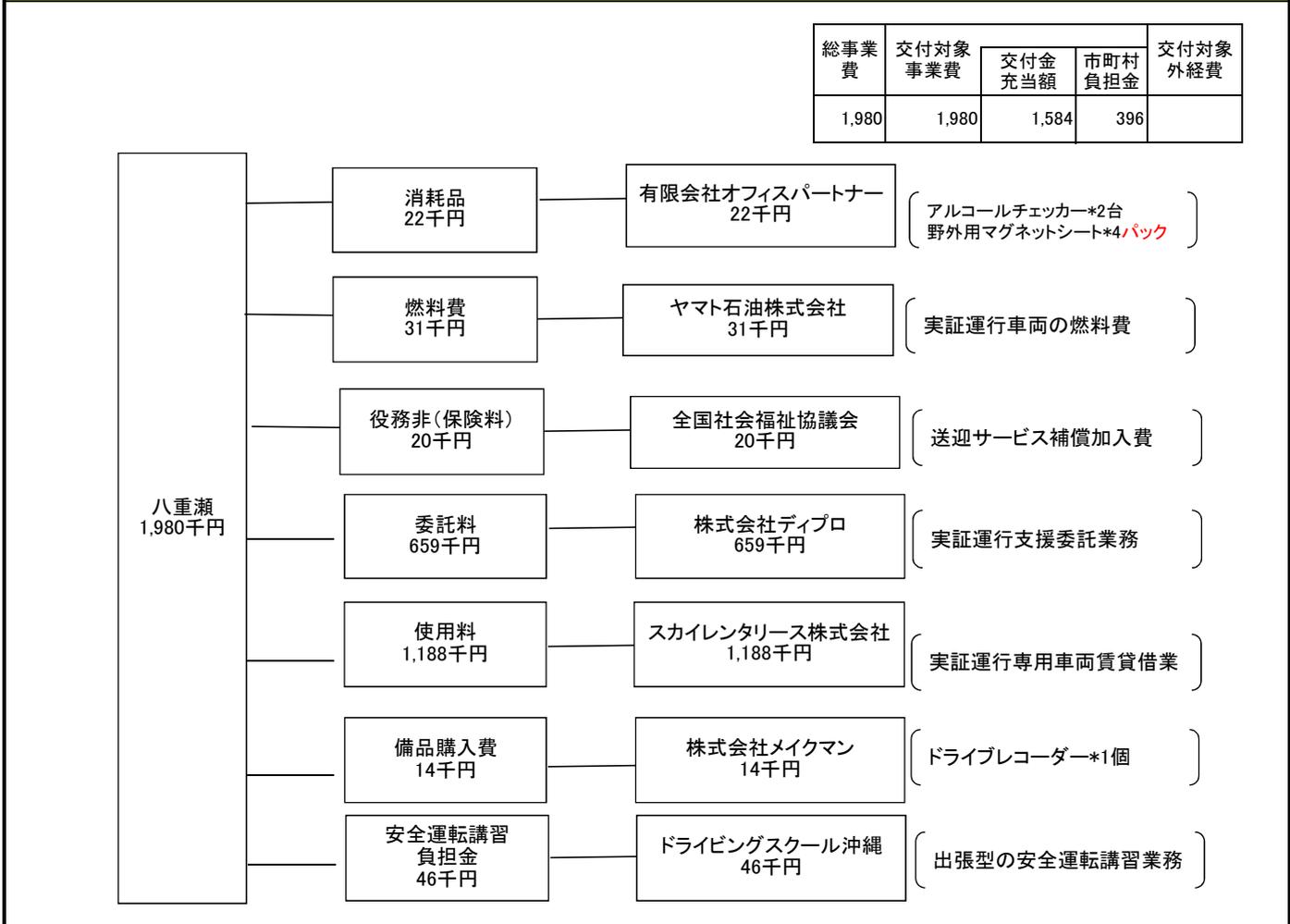
市町村名		八重瀬町						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	8-①	高齢者おでかけサポート事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(5)-(ア) 高齢者が生き生きと暮らせる地域づくり			
担当部署名	総務部企画財政課	事業実施 (予定)年度	令和4~6年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-4-(2)			
事業内容	交通弱者の通院や買い物等の外出を支援するため、地域のボランティアが運転手となり、町が用意した車両を用いた無償の送迎サービス事業を行い、地域の移動手段の確保だけでなく、町民同士のつながりや地域の活性化など高齢者福祉の充実に努める。							
効果発現年度	■当年度 ■後年度(令和6年度)							
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 ■負担 □その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	2,681					
		(b)予算現額	2,096					
		(c)増減額(b-a)	▲585					
		(d)繰越額						
		A.計(b+d)	2,096					
	B.執行済額		1,980					
	うち交付金充当額		1,584					
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)		94.5%					
予算の状況の説明		予算減585千円については、入札残によるものである。 不要額116千円については、燃料費及び安全運転講習受講者数の見込数量の減によるものである。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況					
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
	①地域の現状やニーズの把握	目標	実施	()	()	()		
		実績	実施					
	②運行計画の策定	目標	策定	()	()	()		
		実績	策定					
	③安全運転講習の実施	目標	実施	()	()	()		
		実績	実施					
	④実証運行の実施	目標	実施(9か月)	()	()	()		
		実績	実施(7か月)					
⑤利用者に対する利便性調査の実施・評価	目標	実施	()	()	()			
	実績	実施						
達成状況説明	①地域の現状やニーズの把握について ・事業実施に向けて自治会・関係機関に対する事業説明・意見交換を行った。 ・自治会16名のボランティア運転手によって実証事業をスタートすることとなった。 ②運行計画の策定について ・参加自治会と会議を7回開催し、車両の選定や運行規約・事故対応マニュアル等を策定した。 ③安全運転講習の実施について ・7月末から車両を確保し、ボランティア運転手向けの安全運転講習を7回実施した。 ④実証運行の実施 ・利用者への周知やボランティア運転手の募集が遅れたため当初予定より2か月遅れて9月より実施した。 ⑤利用者に対する利便性調査について ・参加自治会での会議でのアンケート調査、利用者への聞き取り調査を3回行った。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R4成果目標(指標)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標値 (年度)	
	・期間内利用者数:約917人 (実証運行9か月想定)		目標	917	()	()	()	()
			実績	164				
			目標	()	()	()	()	()
			実績					
進捗状況説明	新規の実証事業のため利用人数等の把握が困難であったため、参考値として民間病院の送迎バスの空席を活用した外出支援事業の開始当初3年間の平均利用人数の75%の値を期間内利用者数としたが目標値を達成することができなかった。 次年度は、利用人数だけでなく参加自治会数や稼働日数など、令和4年度の実績を踏まえて複数の成果目標を設定し多角的な視点から事業を評価・改善する必要がある。							

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・自治会への事業説明、運行規約の策定、ボランティア運転手の確保に時間を要したため、実証事業の開始が2か月遅れ稼働日数が短くなった。	・広報誌への掲載だけでなく、地域のミニデイサービス等に出向いて説明会を開催するなど、周知活動の強化を図る。
	・利用者や関係機関からは、周知・広報不足や、ボランティア運転手の確保に対する課題が挙げられた。	・ボランティア運転手が不足している複数の自治会が課題を共有し、連携して運行できるような事業スキームを検討する。

今後の取り組み方針

本実証事業は、自治会を中心とした取り組みであり、ボランティア運転手の担い手の方々も、自治会活動に積極的に参加する方々であることを踏まえて、今後も3者連携の体制づくりを継続していく必要がある。また、本事業の本格導入に至った際には、自治会への加入や活動への参加を促進または活動のキッカケとなることも期待される。今後は、参加する自治会を増やし引き続き利用者の増加を図る対策を講じていく必要がある。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ・委託業者は、実績・知識等を勘案し地方自治法施行令第167条の2第1項第6号の規定に基づき随意契約しているため妥当な選定であったと考える。 ・賃貸借契約に関しては指名競争入札により選定しており、妥当な選定であったと考える。 ・費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	9-①	学校施設予防改修事業(塩害防止)		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-(エ) 時代の変化に対応する魅力ある 学校づくりの推進		
担当部署名	八重瀬町教育委員会 学校教育課	事業実施 (予定)年度	令和4年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-3-(1)		
事業内容	校舎外壁面の塗装対策を行い建物の剥離や亀裂を予防することにより、小学校校舎の塩害を防止し長寿命化を図り教育環境の向上を目指す。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d) B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額 執行率(%) (B/A)	(a) 当初予算額	28,930				
		(b) 予算現額	29,480				
		(c) 増減額(b-a)	550	第一回軽微な変更105千円 第二回軽微な変更445千円	0	0	0
		(d) 繰越額	0				
	A. 計(b+d)	29,480	0	0	0	0	
	B. 執行済額	29,480					
	うち交付金充当額	23,584					
	次年度繰越額	0					
	執行率(%) (B/A)	100.0%					
予算の状況の説明	事業計画の通りに執行を行った。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	校舎外壁の塗装:小学校1校		目標 (校舎外壁の塗装:小学校1校)	()	()	()	()
			実績 校舎外壁の塗装:小学校1校				
達成状況説明	令和4年度に校舎外壁の塗装工事を完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(R4年度)	R5年度	R6年度	R7年度	目標値(年度)
	教育委員会による点検を実施する。		目標 (点検の実施)	()	()	()	()
			実績 点検の実施				
	外壁などの剥離件数:0件		目標 (剥離件数:0件)	()	()	()	()
			実績 剥離件数:0件				
	外壁などの亀裂件数:0件		目標 (亀裂件数:0件)	()	()	()	()
			実績 亀裂件数:0件				
	進捗状況説明	令和4年12月に外壁塗装工事を完了し、令和5年3月に点検を実施した。					

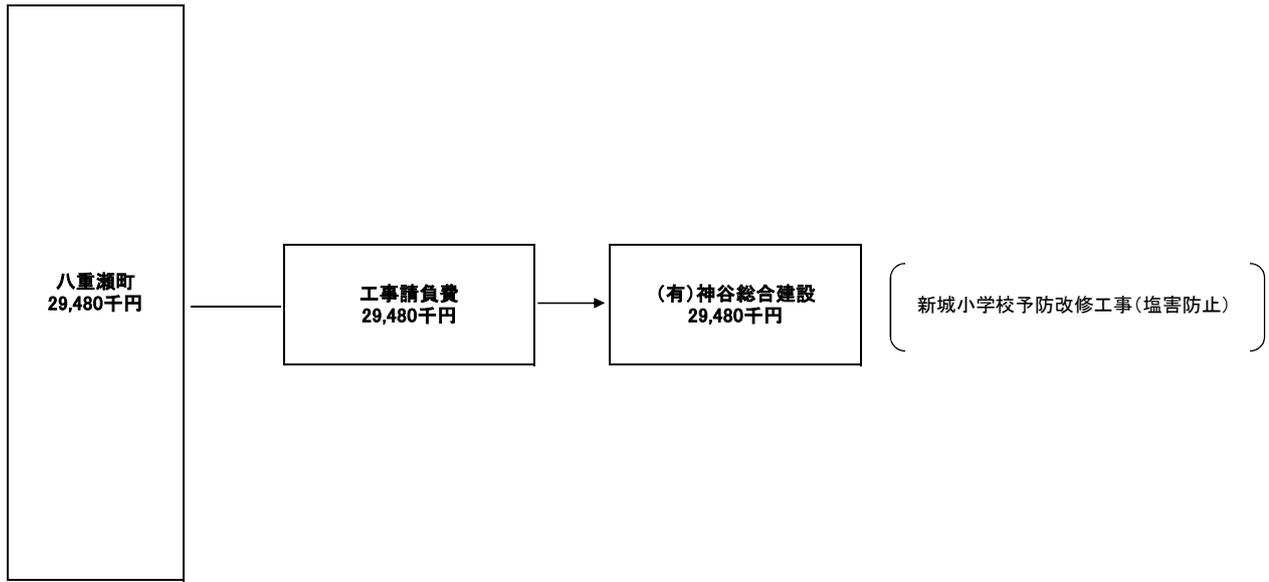
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(教育委員会による点検を実施) ・R5年3月の点検では、外壁の剥離や亀裂などは見られない。	(教育委員会による点検を実施) ・今後も定期的に点検を実施することで、外壁の状態の変化を確認していく。

今後の取り組み方針

教育委員会による定期点検以外に、学校側による日常の安全点検などで外壁の異常を発見した場合はすみやかに教育委員会に報告できる体制等の強化取組を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
29,480	29,480	23,584	5,896	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事業者は指名競争入札で選定しており妥当であったと考えている。 ○変更増があったが、全体的にみて適正な規模であった。 ○工事完了後に完了検査を実施し、目的に即したものであると判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	10-① 運動公園省エネ化推進事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-1-(1)-ア		
担当部署名	教育委員会 スポーツ振興課	事業実施(予定)年度	平成28~令和4年度	沖縄振興基本方針該当箇所	脱炭素島しょ社会の実現に向けたエネルギー施策の推進		
事業内容	二酸化炭素排出量を抑制し地球温暖化対策を進めることにより自然環境の維持を図る。 また、消費電力の低いLED照明に取り替えることにより、省エネとコスト削減を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額	A. 計(b+d)	56,700	50,890	39,493	34,346	10,853
		B. 執行済額	69,580	50,890	38,665	34,305	10,853
		うち交付金充当額	12,880	0	▲ 828	▲ 41	0
		次年度繰越額	69,580	50,890	38,665	34,305	10,853
	執行率(%) (B/A)	68,050	32,171	38,555	33,710	9,842	
	予算の状況の説明	54,440	25,736	30,844	26,968	9,842	
	予算の不要額の発生については、工事・委託の入札残によるものである。						
	活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)	達成状況				
		具志頭運動公園外灯のLED照明設置	目標	(設置)	(設置)	(設置)	(設置)
実績			設置	設置	設置	設置	
達成状況説明	・委託料においては具志頭運動公園外灯工事に伴う監理業務を事業期間内に完了することが出来た。 ・工事請負費においても、具志頭運動公園外灯をLED照明への取替工事を事業期間内に完成することが出来た。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)	基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)	
	具志頭運動公園の年間あたりの二酸化炭素排出削減量2.6t/月	目標	()	(3.3t)	(4.1t)	(2.6t)	()
		実績		3.3t	4.1t	2.6t	
進捗状況説明	成果目標の設定については過年度に行った設計業務の際の二酸化炭素排出量計算より算出しており、本工事を行うことで既存照明の3.8t/月排出するところ、LED照明に取替することで、1.2t/月の二酸化炭素排出量となることから、その差2.6t/月の二酸化炭素排出を削減できることとなる。よって本工事を完成したことから成果目標を達成することが出来た。						

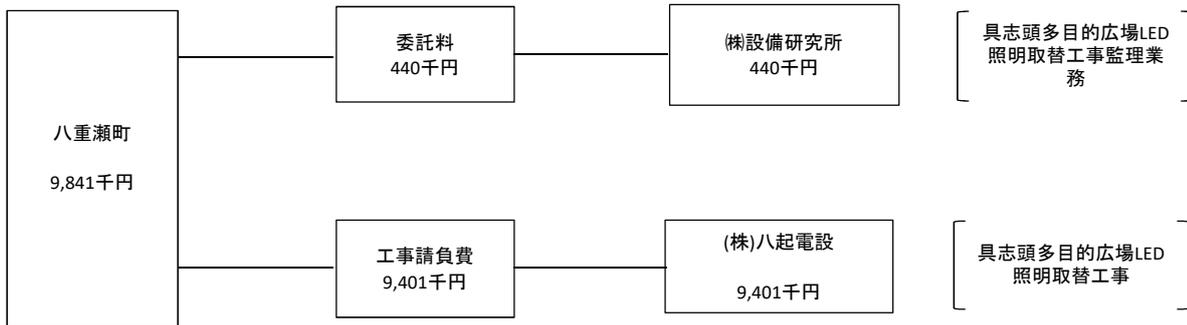
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>請負工事費について入札の際に入札残が生じた。 又、委託料においては業者見積合わせによる随意契約により不用額が発生した。</p>	<p>事業執行にあたり委託及び工事の発注時期を早期に行い、入札残等を早めに把握することで計画的に変更申請にて減額を検討することができる。</p>

今後の取り組み方針

公共施設のLED化を町広報誌へ掲載し、町民へ周知することにより、環境に対する意識向上を図りたい。又、事業執行にあたっては不用額を未然に防ぐため、計画的に変更申請にて減額等の対応を行い、不用額の縮減に努めたい。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
9,842	9,842	9,842	0	



資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事及び委託については、本町指名審査会で選定し、指名競争入札により実施しており妥当である。委託業務については地方自治法施行令第167条の2第1項第1号に基づき、競争見積方式による随意契約を行っており妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○委託費・工事費は沖縄県土木建築部の歩掛、または複数業者見積を参考として設計額を算出しており、予算規模は適正だった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者負担なし。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものに限定されているかについて、工事・委託検査の際に支出等に関する書類により精査及び検査を実施しており適正であった。

市町村名	八重瀬町							
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	10-②	八重瀬町防犯灯LED化推進事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-1-(1)-ア			
担当部署名	総務部 総務課	事業実施(予定)年度	令和4年度	沖縄振興基本方針該当箇所	脱炭素島しょ社会の実現に向けたエネルギー施策の推進 Ⅲ-10-(2)			
事業内容	八重瀬町管理の既存防犯灯をLED照明に取り替えることにより、二酸化炭素排出量と消費電力を削減し、地球温暖化の抑制に寄与する。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度		
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,422					
		(b) 予算現額	5,422					
		(c) 増減額(b-a)	▲1,000					
		(d) 繰越額	0					
	A. 計(b+d)		5,422					
	B. 執行済額		5,301					
	うち交付金充当額		4,241					
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)		97.8%					
予算の状況の説明		予算の不用額の発生については、 工事・委託の入札残によるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況					
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
	既存防犯灯26箇所をLEDに更新する		目標 (26基)	()	()	()		
			実績 26基					
達成状況説明	・委託料においては防犯灯LED照明取替工事の設計業務及び監理業務を事業期間内に完了することができた。 ・工事請負費についても、防犯灯LED照明取替工事を事業期間内に完成することができた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)	
			目標	()	(0.4t)	()	()	()
	1ヶ月あたりの二酸化炭素排出削減量0.4t/月		実績		0.4t			
	進捗状況説明	既存照明の二酸化炭素排出量が0.55t/月のところ、本工事によりLED照明に取り替えることで0.11t/月となることから、その差0.44t/月の二酸化炭素排出量を削減できることとなる。よって、成果目標を達成することができた。						

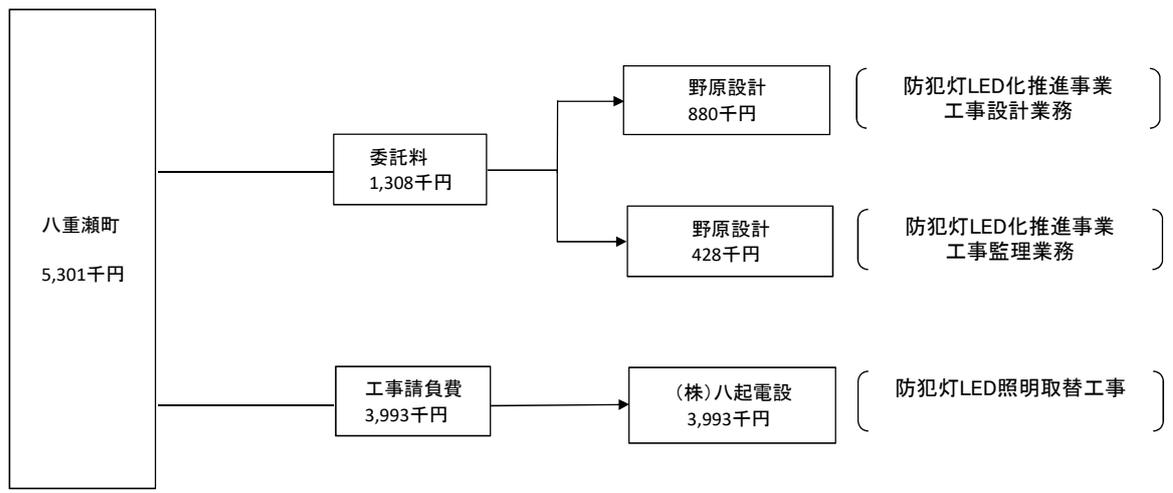
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	設計業務委託料及び工事請負費について、入札の際に入札残が生じた。また、管理業務委託料について業者見積合わせにより契約額が当初積算額より下がった為、不用額が発生した。	事業執行にあたり委託及び工事の発注を早期に行うことで、入札残等を早めに把握し、計画的に減額などの変更申請を検討することができる。

今後の取り組み方針

町管理防犯灯のLED化を町広報紙に掲載し、周知することにより、町民の環境に対する意識付け、啓発を図りたい。また、各自治会にて管理されている防犯灯のLED化についても検討を進めたい。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
5,301	5,301	4,241	1,060	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○設計業務委託及び工事については本町指名審査会で選定し、指名競争入札により実施しており妥当である。監理委託業務については地方自治法施行令第167条の2第1項第1号に基づき、競争見積方式による随意契約を行っており妥当である。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○受益者負担なし。 ○費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものに限定されているかについて、工事・委託検査の際に支出等に関する書類により精査及び検査を実施しており適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町							
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	11-①	八重瀬町スポーツ観光交流施設活性化事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(9)-ア			
担当部署名	教育委員会 スポーツ振興課	事業実施(予定)年度	令和4~令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	スポーツコンベンションの推進とスポーツ交流拠点の形成 Ⅲ-1-(1)			
事業内容	観光交流機能であるサッカーグラウンドにプロサッカーチームのキャンプ誘致に向けて、プロサッカー選手の動きにも耐える芝生の管理委託業務及びトレーニングマッチ等で使用する備品購入を行うことで、沖縄県民のみならず、観光客の誘致を図る。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度		
	予算の状況	(a) 当初予算額	18,830					
		(b) 予算現額	18,830					
		(c) 増減額(b-a)	0					
		(d) 繰越額	0					
	A. 計(b+d)		18,830					
	B. 執行済額		18,150					
	うち交付金充当額		14,520					
	次年度繰越額		0					
	執行率(%) (B/A)		96.4%					
予算の状況の説明		具志頭サッカー場において、芝生管理委託及び備品購入について、予定どおり執行することができた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況					
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	サッカーグラウンドのプロ仕様芝生管理委託		目標	()	()	()	(実施)	
			実績				実施	
達成状況説明	・具志頭サッカー場において、プロ仕様による芝生管理を行うことで、良好な芝生の状態で冬場におけるJリーグトレーニングマッチを行うことができた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)	
	具志頭サッカー場への来場者数		目標	()	()	()	(2,600)	()
			実績				12,768	
	具志頭サッカー場への県外観光客数		目標	()	()	()	(660)	()
			実績				92	
	進捗状況説明	施設利用者を含む来場者数については、練習拠点としたFC琉球の利用、トレーニングマッチの開催、県外・国外からのキャンプの受入れ、各種大会の開催、一般利用などにより、目標を達成した。 県外観光客数については、Jリーグクラブのキャンプを受入れることができなかったことや、トレーニングマッチが平日の4試合にとどまったことなどから、目標を達成することができなかった。						

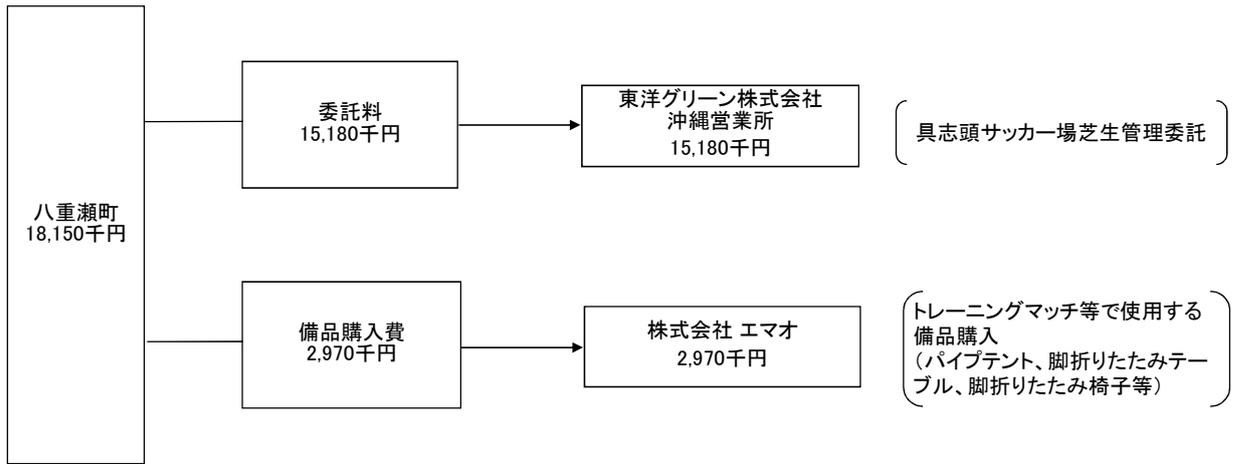
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(県外観光客数) 目標に達することができなかった原因として、練習拠点としたJリーグクラブ以外のキャンプを誘致できなかったことや、休日でのトレーニングマッチが開催できなかった。 また、具志頭サッカー場は、令和4年8月に完成し使用開始を行ったが、県外クラブチーム等に施設の周知が足りなかった。	(サッカー場の施設環境) 芝生管理を行った結果、施設完成時より土壌等の硬さが改善されてきているが、Jリーグクラブからは、更なる改善・機能強化を図るよう希望があり、プロサッカー選手の動きにも耐えうる芝生の管理委託を継続する必要がある。

今後の取り組み方針

(県外観光客数)
八重瀬町観光物産協会及び沖縄県並びに旅行業者等と連携し、県外クラブチームのキャンプ誘致を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
18,150	18,150	14,520	3,630	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○具志頭サッカー場芝生管理委託は、地方自治法施行令第167条の2第1項第2号に基づき随意契約を行い、備品購入は指名入札による契約を行っており、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○複数業者による見積を参考に設計額を算出しており、予算規模は適正だった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者負担なし。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については、完了検査の際に書類により精査及び検査を行っており、事業目的達成に必要なものに限定され適正であった。

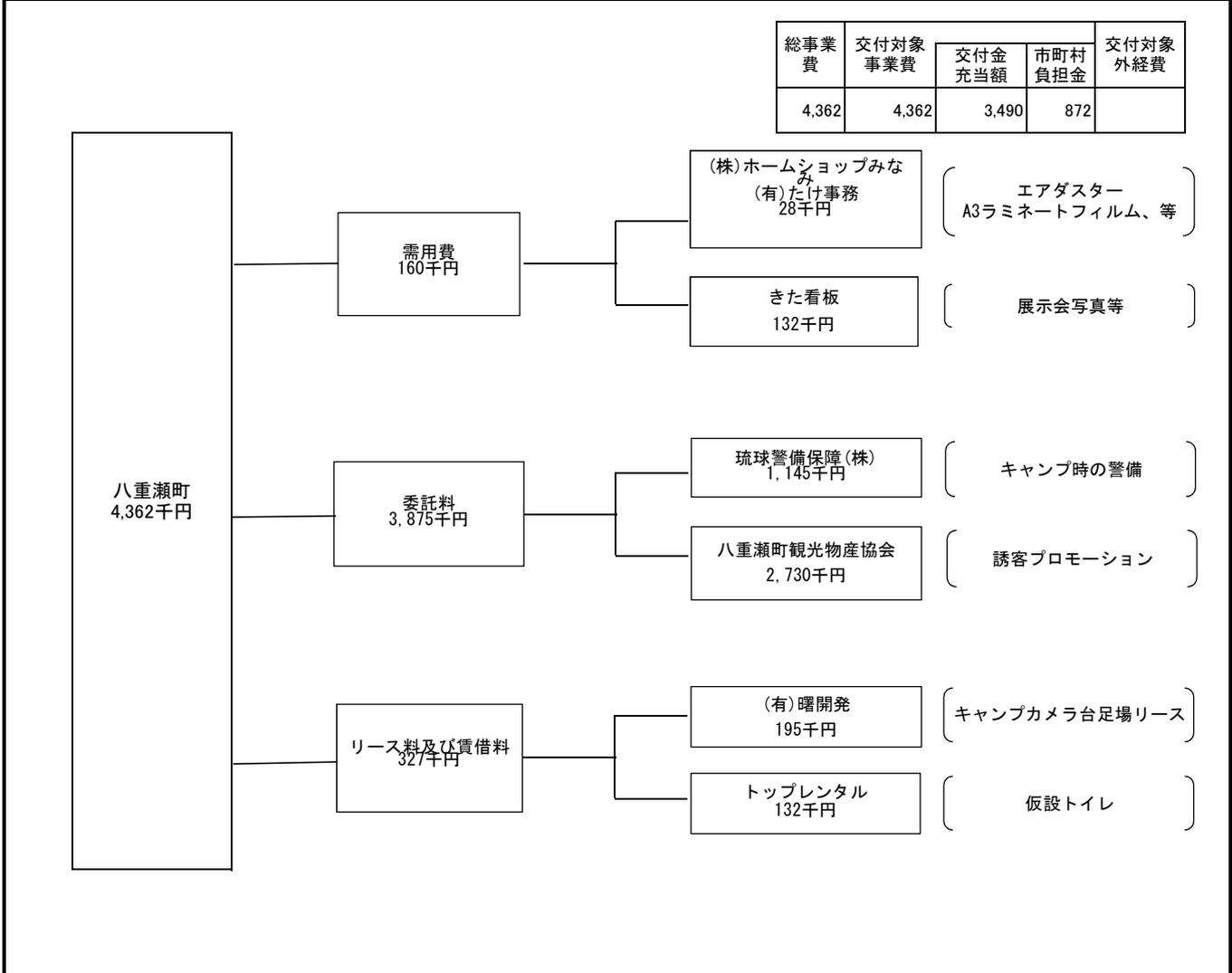
市町村名		八重瀬町					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	12-① スポーツキャンプ事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		第4章-3-(9)-ア		
担当部署名	経済産業部 観光商工課 教育委員会 スポーツ振興課	事業実施(予定)年度	平成26~令和13年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	八重瀬町の運動施設にサッカーキャンプを誘致することで、観光客を誘客を行い町内の飲食店や商店などで消費促進をや地域活性化を図る。						
効果発現年度	■当年度 <input type="checkbox"/> 後年度()年度						
実施方法	■直接実施 ■委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		(a) 当初予算額	8,955	11,304	5,906	3,959	5,006
	(b) 予算現額	8,955	11,304	4,933	1,640	5,006	
	(c) 増減額(b-a)	0	0	▲ 973	▲ 2,319	0	
	(d) 繰越額						
	A. 計(b+d)	8,955	11,304	4,933	1,640	5,006	
	B. 執行済額	4,685	656	3,975	4,885	4,362	
	うち交付金充当額	3,747	524	3,179	3,908	3,490	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	52.3%	5.8%	80.6%	297.9%	87.1%	
予算の状況の説明	・不用額は、誘致プロモーション委託業務の入札残である。 ・キャンプ誘致、周遊ツールは予定通り実施することができた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)	達成状況					
		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	サッカーチームのキャンプ誘致	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	観光客を誘客し、周遊・消費を促す	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
実績		実施	実施	実施	実施		
達成状況説明	・J1チーム「京都サンガF.C.」、J2チーム「ザスパクサツ」、なでしこチーム「大宮アルディージャVENTUS」、大学チーム、海外チーム計6チームを誘致した。 ・町内観光施設、商店等でのスタンプラリーを実施し、町内で周遊・消費を促した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)	基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)	
		目標	()	(3チーム)	(4チーム)	(4チーム)	()
	実績		2チーム	2チーム	5チーム		
	周遊ツールを活用し、150万円の消費を促す	目標	()	(150万円)	(150万円)	(150万円)	()
		実績		82.5万円	17万円	12万円	
進捗状況説明	【チーム誘致】 ・J1チーム「京都サンガF.C.」、J2チーム「ザスパクサツ」、なでしこチーム「大宮アルディージャVENTUS」、大学チーム、海外チーム計6チームを誘致した。 【周遊ツール活用消費】 ・新型コロナウイルス感染拡大も落ち着きを見せる時期でのキャンプ開催ではあったが、県外からの観光客が伸び悩んだ。誘客を図ることが困難であった。本町サイトのSNS(Twitter, youtube)を活用し、キャンプの様子や期間中の町の取組を紹介することで、チーム関係者やチームサポーターが本町を知るきっかけ作りに繋がった。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・本町のキャンプ受入を行う施設(サッカーコート)の整備が良好であるため、予定していた4チームを上回る6チームも誘致ができた。 ・新型コロナウイルス感染対策が緩和されてきていたが、県外からのキャンプ来客が予定より伸び悩んだ。 又、スタンプラリーの取組等を行うことで、キャンプの周知につながり、徐々に八重瀬町内でのキャンプが浸透してきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染対策が緩和されてきているが、令和元年度実績よりは大幅に下回っている。SNSや非接触型アプリケーション等を活用した取り組みを検討し、本町のPR並びにスポーツキャンプを盛り上げることで、住民と一体となってさらなる地域活性化を図る。 ・チーム関係者及び沖縄県、各市町村と密に連携を行いながら、キャンプの意見交換会等での各市町村の取組や県の対応などを参考にしながら機運醸成を図る。

今後の取り組み方針

- ・県と調整して誘致するチームを検討、決定し、継続して誘致活動を推進することで、キャンプの定着化を図る。
- ・周遊ツールによる経済効果等の把握に向けた取り組みについては継続して実施していく。従来よりキャンプを行うチームの決定が年末年始とギリギリであることから、短期間でキャンプの実施にかかる周知広報が可能な手法がないか検討し、町内消費及び事業効果の拡大を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の用途の点検・費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は地方自治法施行令第167条の2第1項第2号に基づき随意契約を行っており妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○委託費は業者見積を参考として設計額を算出しており、予算規模は適正だった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○予算執行については、八重瀬町契約規則に基づき執行し、支出先の選定方法は妥当だったと考える。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。